

# 財政状況の公表

平成24年11月

埼玉県入間市

市が提供するさまざまな行政サービスは、みなさんに納めていただいた税金や国・県からの支出金などによってまかなわれています。市では、それらがどのように使われているかをお知らせするため、年2回、財政状況を公表しています。

今回は、「平成24年度上半期（4月1日～9月30日）の財政状況」及び「平成23年度の決算状況」をお知らせします。

## 目 次

### I 平成24年度上半期（4月1日～9月30日）の財政状況

1	予算の状況	1
2	歳入歳出の執行状況	2
3	市民負担の状況	4
4	財産の状況	5
5	市債の状況	6
6	一時借入金の状況	7
7	資料（会計別財政状況の概要）	8

### II 平成23年度の決算状況

1	決算の概要	4 2
2	歳入歳出決算額の状況	4 3
3	資料（会計別決算の状況）	4 4

## I 平成24年度上半期（4月1日～9月30日）の財政状況

### 1 予算の状況

平成24年9月30日現在の一般会計と特別会計における平成24年度予算額は、下記のとおりとなっております。

(単位 千円)

会 計	当初予算額	4月～9月の 補正予算額	10月～3月の 補正予算額	継続費及び 繰越事業繰越額	予算現額
一 般 会 計	38,370,000	(第1～2号) 459,526	—	1,478,265	40,307,791

特 別 会 計	28,416,696		—	300,633	29,347,697
国民健康保険	16,549,746	(第1号) 162,246	—	0	16,711,992
後期高齢者医療	1,238,886	(第1号) 5,966	—	0	1,244,852
介護保険	6,654,794	(第1号) 237,874	—	0	6,892,668
下水道事業	2,353,487	(第1号) 17,724	—	0	2,371,211
武蔵藤沢駅周辺 土地区画整理事業	179,000	(第1号) 0	—	136,502	315,502
入間市駅北口 土地区画整理事業	540,000	(第1号) 99,758	—	67,855	707,613
扇台 土地区画整理事業	490,983	(第1号) 106,800	—	36,307	634,090
狭山台 土地区画整理事業	409,800	(第1号) 0	—	59,969	469,769

水道事業会計		(第1号)			
収益的収入	2,881,379	0	—	0	2,881,379
収益的支出	2,804,936	0	—	0	2,804,936
資本的収入	456,545	0	—	0	456,545
資本的支出	1,400,268	43,611	—	68,231	1,512,110

## 2 歳入歳出の執行状況

平成24年9月30日現在の一般会計と特別会計における歳入歳出執行状況は、下記のとおりとなっております。

### 【歳入】

(単位千円)

会 計	予算現額	収 入 済 額			収入 割合
		4月～9月	10月～3月	計	
一 般 会 計	40,307,791	18,273,614	—	18,273,614	45.34%

特 別 会 計	29,347,697	10,562,704	—	10,562,704	35.99%
国民健康保険	16,711,992	6,318,608	—	6,318,608	37.81%
後期高齢者医療	1,244,852	431,254	—	431,254	34.64%
介護保険	6,892,668	2,709,299	—	2,709,299	39.31%
下水道事業	2,371,211	833,042	—	833,042	35.13%
武蔵藤沢駅周辺 土地区画整理事業	315,502	75,457	—	75,457	23.92%
入間市駅北口 土地区画整理事業	707,613	55,943	—	55,943	7.91%
扇台 土地区画整理事業	634,090	52,366	—	52,366	8.26%
狭山台 土地区画整理事業	469,769	86,735	—	86,735	18.46%

水道事業会計					
収益的収入	2,881,379	1,425,031	—	1,425,031	49.46%
資本的収入	456,545	226,912	—	226,912	49.70%

※表示単位未満四捨五入のため、積み上げた数値とその合計値は必ずしも一致しません。

【 歳 出 】

(単位千円)

会 計	予算現額	支 出 済 額			支出 割合
		4月～9月	10月～3月	計	
一 般 会 計	40,307,791	14,861,180	—	14,861,180	36.87%

特 別 会 計	29,347,697	12,159,219	—	12,159,219	41.43%
国民健康保険	16,711,992	7,750,766	—	7,750,766	46.38%
後期高齢者医療	1,244,852	441,022	—	441,022	35.43%
介護保険	6,892,668	2,804,315	—	2,804,315	40.69%
下水道事業	2,371,211	757,535	—	757,535	31.95%
武蔵藤沢駅周辺 土地区画整理事業	315,502	31,748	—	31,748	10.06%
入間市駅北口 土地区画整理事業	707,613	125,937	—	125,937	17.80%
扇台 土地区画整理事業	634,090	143,347	—	143,347	22.61%
狭山台 土地区画整理事業	469,769	104,549	—	104,549	22.26%

水道事業会計					
収益的支出	2,804,936	1,185,954	—	1,185,954	42.28%
資本的支出	1,512,110	186,568	—	186,568	12.34%

※表示単位未満四捨五入のため、積み上げた数値とその合計値は必ずしも一致しません。

### 3 市民負担の状況

市税は、市政運営のために欠くことのできない財源であり、歳入予算総額の約51%を占めています。

平成24年9月30日現在の予算現額で見ると、市税の予算現額は206億4,083万円となっています。これを平成24年9月末の人口(150,161人)及び世帯数(60,945世帯)で単純に割ると、市民1人あたり13万7,458円、1世帯あたり33万8,680円の負担となっていることがわかります。

税 目		予算現額 平成24年9月30日現在	市民1人当たりの 負担額	1世帯当たりの 負担額
市民税	(個人)	8,373,410,000円	55,763円	137,393円
	(法人)	1,192,855,000円	7,944円	19,573円
固定資産税		8,758,814,000円	58,329円	143,717円
都市計画税		1,311,408,000円	8,733円	21,518円
その他の税		1,004,339,000円	6,688円	16,479円
計		20,640,826,000円	137,458円	338,680円

また、市民のために使われた経費(これを行政経費といいます。)は、市民1人あたり26万8,430円、1世帯あたり66万1,380円となっています。

科 目	予算現額 平成24年9月30日現在	市民1人当たりの 行政経費	1世帯当たりの 行政経費
民生費	15,192,214,000円	101,173円	249,277円
教育費	6,804,132,000円	45,312円	111,644円
総務費	4,818,893,000円	32,092円	79,070円
土木費	3,801,013,000円	25,313円	62,368円
衛生費	3,621,380,000円	24,117円	59,420円
公債費	3,102,054,000円	20,658円	50,899円
消防費	1,875,638,000円	12,491円	30,776円
その他	1,092,467,000円	7,275円	17,925円
計	40,307,791,000円	268,430円	661,380円

※表示単位未満四捨五入のため、積み上げた数値とその合計値は必ずしも一致しません。

#### 4 財産の状況

公有財産とは、市が所有している土地、建物などの財産をいいます。使用目的によって、行政財産（庁舎、消防施設などの公用、または学校、公園などの公共用）と普通財産（行政財産以外の市の財産）に区分されます。公営企業会計を除く土地及び建物の現在高は下記のとおりです。

土地及び建物の現在高（平成24年9月30日現在）

区 分		土 地	建 物
公有財産	行政財産	2,211,496 m <sup>2</sup>	347,856 m <sup>2</sup>
	普通財産	53,427 m <sup>2</sup>	478 m <sup>2</sup>

基金とは、地方公共団体が条例の定めるところにより特定の目的のために設置するもので、「財産を維持し、資金を積み立てるために設置されるもの」と「定額の資金を運用するために設置されるもの」の2種類があります。

基金の現在高（平成24年9月30日現在）

基 金 の 名 称	現 在 高
奨学基金	45,299,493 円
土地開発基金	14,193,376 円
遺児奨学基金	4,698,020 円
国民健康保険高額療養費つなぎ資金貸付基金	20,483,806 円
出産費資金貸付基金	2,572,772 円
子ども医療基金	29,128,000 円
介護給付費準備基金	349,674,304 円
財政調整基金	1,856,549,000 円
公共施設整備基金	3,703,243 円
国民健康保険の保険給付費支払基金	440,810 円
緑の基金	36,721,000 円
地域福祉基金	153,879,633 円
合 計	2,517,343,457 円

※現在高は、預金残高のみを表示しています。

## 5 市債の状況

道路や公園、学校などの公共施設の整備には多額の資金が必要であり、その年度の市税や国・県からの補助金などでは計画的な整備を推進することができません。そこで市は、国、県や金融機関などから資金の長期借入を行い、これを市債といいます。

市債を発行する理由は大きく二つあり、一つは、前述のとおり公共施設整備に要する経費は多額であるためその年度だけで支出するには負担が大きいこと、また、もう一つは、これらの公共施設はこの先何年もの長い期間使用するものであるため、現在税金を納めている世代だけでなく、後世代も負担していくことで、世代間の負担の公平を図ることができることが挙げられます。

市債の元利償還額、借入額及び市債残高（平成24年9月30日現在）

（単位 円）

区 分	平成24年 4月1日 現在高	平成24年度 4～9月の 借入額	平成24年度 4～9月の償還額			平成24年 9月30日 現在高
			元 金	利 子	計	
一般会計債	29,903,294,678	0	979,559,285	169,195,049	1,148,754,334	28,923,735,393
普通建設 地方債	11,363,191,555	0	383,690,181	64,944,368	448,634,549	10,979,501,374
特例地方債	18,540,103,123	0	595,869,104	104,250,681	700,119,785	17,944,234,019
下水道事業債	11,813,377,512	0	318,452,892	135,023,279	453,476,171	11,494,924,620
土地区画整理 事業債	355,800,000	0	0	0	0	355,800,000
上水道事業債	3,672,979,832	0	127,661,007	50,399,660	178,060,667	3,545,318,825
合 計	45,745,452,022	0	1,425,673,184	354,617,988	1,780,291,172	44,319,778,838

## 6 一時借入金の状況

年度途中において、収入と支出の時期的なずれなどから生じる一時的な現金の不足を補うために借り入れる資金を一時借入金といいます。

一時借入金は、一時的な資金繰りのためのものであるため、年度内に償還しなければならず、複数年にわたって借り入れる市債とは区別されます。

一時借入金の現在高（平成24年9月30日現在）

（単位 円）

区 分	予算で定められた 限度額	平成 24 年 4 月 1 日 現在高	平成 24 年度 4～9月		平成 24 年 9 月 30 日 現在高	平成 24 年度 4～9月中 最高借入額
			借入額累計	償還額累計		
一般会計	3,000,000,000	0	0	0	0	0
国民健康保険 特別会計	500,000,000	0	0	0	0	0

## 7 資 料

### 会計別財政状況の概要

一般会計	9
国民健康保険特別会計	15
後期高齢者医療特別会計	19
介護保険特別会計	21
下水道事業特別会計	25
入間都市計画事業武蔵藤沢駅周辺土地区画整理事業特別会計	28
入間都市計画事業入間市駅北口土地区画整理事業特別会計	30
入間都市計画事業扇台土地区画整理事業特別会計	32
入間都市計画事業狭山台土地区画整理事業特別会計	34
水道事業会計	36

平成24年度一般会計財政状況の概要  
(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

1 予算の状況(平成24年9月30日現在)

一般会計の予算現額は、当初予算額383億7,000万円に前年度からの繰越事業費14億7,826万5千円を加えたものに対し、その後2回の補正を行い4億5,952万6千円を増額したことにより、予算現額403億779万1千円となっております。

(歳入)

(単位 千円)

科 目	当初予算額	補正予算額		継続費及び 繰越事業 繰越財源充当額	予算現額
		4月～9月	10月～3月		
		(第1～2号)	—		
1 市税	20,356,655	284,171	—	0	20,640,826
2 地方譲与税	336,800	0	—	0	336,800
3 利子割交付金	52,400	0	—	0	52,400
4 配当割交付金	34,700	0	—	0	34,700
5 株式等譲渡所得割交付金	11,100	0	—	0	11,100
6 地方消費税交付金	1,241,300	0	—	0	1,241,300
7 ゴルフ場利用税交付金	52,800	0	—	0	52,800
8 自動車取得税交付金	149,900	0	—	0	149,900
9 国有提供施設等所在市町村助成交付金	60,000	0	—	0	60,000
10 地方特例交付金	137,000	-5,745	—	0	131,255
11 地方交付税	1,862,000	-147,878	—	0	1,714,122
12 交通安全対策特別交付金	22,500	0	—	0	22,500
13 分担金及び負担金	567,536	0	—	0	567,536
14 使用料及び手数料	596,191	0	—	0	596,191
15 国庫支出金	4,878,878	6,042	—	375,441	5,260,361
16 県支出金	1,941,946	85,418	—	0	2,027,364
17 財産収入	148,032	0	—	0	148,032
18 寄附金	1,290	0	—	0	1,290
19 繰入金	876,600	351,816	—	0	1,228,416
20 繰越金	600,000	192,102	—	323,024	1,115,126
21 諸収入	763,072	61,504	—	0	824,576
22 市債	3,679,300	-367,904	—	779,800	4,091,196
合 計	38,370,000	459,526	—	1,478,265	40,307,791

(歳出)

(単位 千円)

科 目	当初予算額	補正予算額		継続費及び 繰越事業繰越額	予備費支出及 び流用増減額	予算現額
		4月～9月	10月～3月			
		(第1～2号)	—			
1 議会費	315,716	614	—	0	0	316,330
2 総務費	4,794,845	6,930	—	0	17,118	4,818,893
3 民生費	15,088,621	88,618	—	14,975	0	15,192,214
4 衛生費	3,585,659	35,721	—	0	0	3,621,380
5 労働費	68,390	0	—	0	0	68,390
6 農林水産業費	163,856	0	—	0	0	163,856
7 商工費	214,883	0	—	0	0	214,883
8 土木費	3,397,515	242,890	—	158,802	1,806	3,801,013
9 消防費	1,814,669	55,230	—	0	5,739	1,875,638
10 教育費	5,467,906	31,267	—	1,304,488	471	6,804,132
11 公債費	3,102,054	0	—	0	0	3,102,054
12 諸支出金	304,242	0	—	0	0	304,242
13 予備費	51,644	-1,744	—	0	-25,134	24,766
合 計	38,370,000	459,526	—	1,478,265	0	40,307,791

上半期の補正予算の主な内容は、次のとおりです。

一般会計補正予算（第1号）は、歳入歳出予算の補正です。歳入歳出それぞれに8,619万4千円を追加するもので、歳入においては緊急雇用に関する県支出金及び子ども医療基金繰入金の増であり、歳出においては、歳入に関連した緊急雇用に関する各事業費の増及び子ども医療扶助費の増が主なものです。

一般会計補正予算（第2号）は、歳入歳出予算の補正、債務負担行為の補正及び地方債の補正です。歳入歳出それぞれに3億7,333万2千円を追加するもので、歳入においては、市税、繰入金、繰越金の増、地方交付税の減、市債の増減が主なものであり、歳出については、特別会計への繰出金の増減、障害者施設建設費補助金の増が主なものです。

## 2 歳入歳出の執行状況（平成24年9月30日現在）

歳入の執行状況は、上半期の収入済額が182億7,361万4千円となっており、予算現額に対する収入の割合は45.34%となっています。

一方、歳出の執行状況は、上半期の支出済額が148億6,118万円となっており、予算現額に対する支出の割合は36.87%となっております。

（歳入）

（単位 千円）

科 目	予算現額	収 入 済 額			収入 割合
		4月～9月	10月～3月	計	
1 市税	20,640,826	11,705,251	—	11,705,251	56.71%
2 地方譲与税	336,800	96,918	—	96,918	28.78%
3 利子割交付金	52,400	20,401	—	20,401	38.93%
4 配当割交付金	34,700	11,952	—	11,952	34.44%
5 株式等譲渡所得割交付金	11,100	0	—	0	0.00%
6 地方消費税交付金	1,241,300	662,175	—	662,175	53.35%
7 ゴルフ場利用税交付金	52,800	21,453	—	21,453	40.63%
8 自動車取得税交付金	149,900	48,505	—	48,505	32.36%
9 国有提供施設等所在市町村助成交付金	60,000	0	—	0	0.00%
10 地方特例交付金	131,255	131,255	—	131,255	100.00%
11 地方交付税	1,714,122	1,056,740	—	1,056,740	61.65%
12 交通安全対策特別交付金	22,500	12,442	—	12,442	55.30%
13 分担金及び負担金	567,536	226,041	—	226,041	39.83%
14 使用料及び手数料	596,191	329,561	—	329,561	55.28%
15 国庫支出金	5,260,361	2,149,526	—	2,149,526	40.86%
16 県支出金	2,027,364	367,313	—	367,313	18.12%
17 財産収入	148,032	14,083	—	14,083	9.51%
18 寄附金	1,290	709	—	709	54.96%
19 繰入金	1,228,416	0	—	0	0.00%
20 繰越金	1,115,126	1,115,127	—	1,115,127	100.00%
21 諸収入	824,576	304,162	—	304,162	36.89%
22 市債	4,091,196	0	—	0	0.00%
合 計	40,307,791	18,273,614	—	18,273,614	45.34%

※表示単位未満四捨五入のため、積み上げた数値とその合計値は必ずしも一致しません。

(歳出)

(単位 千円)

科 目	予算現額	支 出 済 額			支出 割合
		4月～9月	10月～3月	計	
1 議会費	316,330	166,330	—	166,330	52.58%
2 総務費	4,818,893	2,177,542	—	2,177,542	45.19%
3 民生費	15,192,214	5,762,306	—	5,762,306	37.93%
4 衛生費	3,621,380	1,349,616	—	1,349,616	37.27%
5 労働費	68,390	58,647	—	58,647	85.75%
6 農林水産業費	163,856	86,023	—	86,023	52.50%
7 商工費	214,883	151,003	—	151,003	70.27%
8 土木費	3,801,013	734,184	—	734,184	19.32%
9 消防費	1,875,638	798,757	—	798,757	42.59%
10 教育費	6,804,132	2,275,553	—	2,275,553	33.44%
11 公債費	3,102,054	1,148,774	—	1,148,774	37.03%
12 諸支出金	304,242	152,446	—	152,446	50.11%
13 予備費	24,766	0	—	0	0.00%
合 計	40,307,791	14,861,180	—	14,861,180	36.87%

※表示単位未満四捨五入のため、積み上げた数値とその合計値は必ずしも一致しません。

### 3 普通建設事業の執行状況（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

平成24年度上半期に支出した主な普通建設事業は次のとおりです。

科 目	事 業 名	支払金額	支払日
8 土木費	市道幹8号線舗装補修工事 (前払金)	2,100,000 円	7/5
	市道幹10号線舗装補修工事	2,142,000 円	8/31
	(仮称)牛沢町多目的広場用地取得	18,645,000 円	9/18
	市道幹8号線舗装補修工事	3,750,600 円	9/28
	加治丘陵保全用地取得	46,824,638 円	9/28
10 教育費	(繰越)金子中学校校舎改築工事(建築工事) (前払金)	52,600,000 円	6/11
	(繰越)金子中学校校舎改築工事(機械設備工事) (前払金)	17,800,000 円	6/11
	金子中学校校舎改築工事(機械設備工事) (前払金)	9,700,000 円	6/11
	(繰越)西武中学校校舎耐震補強等工事 (前払金)	51,600,000 円	6/20
	(繰越)狭山小学校給食室改修工事(設備工事) (前払金)	9,800,000 円	6/22
	(繰越)黒須小学校校舎耐震補強等工事 (前払金)	80,900,000 円	6/29
	(繰越)新久小学校校舎耐震補強等工事 (前払金)	48,000,000 円	6/29

#### 4 市債の元利償還額、借入額及び市債残高（平成24年9月30日現在）

（単位 円）

区 分	平成24年 4月1日 現在高	平成24年度 4～9月の 借入額	平成24年度 4～9月の償還額			平成24年 9月30日 現在高
			元 金	利 子	計	
普通建設地方債	11,363,191,555	0	383,690,181	64,944,368	448,634,549	10,979,501,374
民生債	106,800,000	0	2,722,348	907,800	3,630,148	104,077,652
衛生債	452,651,545	0	54,093,816	1,055,825	55,149,641	398,557,729
土木債	8,204,164,988	0	267,226,600	53,518,660	320,745,260	7,936,938,388
消防債	125,953,166	0	6,980,724	69,002	7,049,726	118,972,442
教育債	2,473,621,856	0	52,666,693	9,393,081	62,059,774	2,420,955,163
特例地方債	18,540,103,123	0	595,869,104	104,250,681	700,119,785	17,944,234,019
減税補てん債	2,873,457,866	0	226,069,853	12,797,891	238,867,744	2,647,388,013
臨時税収補てん債	256,164,860	0	20,142,171	2,689,731	22,831,902	236,022,689
臨時財政対策債	14,815,256,397	0	339,650,830	86,902,419	426,553,249	14,475,605,567
減収補てん債	595,224,000	0	10,006,250	1,860,640	11,866,890	585,217,750
合 計	29,903,294,678	0	979,559,285	169,195,049	1,148,754,334	28,923,735,393

#### 5 一時借入金の現在高（平成24年9月30日現在）

（単位 円）

区 分	予算で定められた 限度額	平成24年 4月1日 現在高	平成24年度 4～9月		平成24年 9月30日 現在高	平成24年度 4～9月中 最高借入額
			借入額累計	償還額累計		
一般会計	3,000,000,000	0	0	0	0	0

平成24年度国民健康保険特別会計財政状況の概要  
(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

1 予算の状況(平成24年9月30日現在)

国民健康保険特別会計の予算現額は、当初予算額165億4,974万6千円に対し、その後1回の補正を行い1億6,224万6千円を増額したことにより、予算現額167億1,199万2千円となっております。

上半期の補正予算の主な内容は、歳入では繰越金によるものであり、歳出では償還金の確定等によるものです。

(歳入)

(単位 千円)

科 目	当初予算額	補正予算額		継続費及び 繰越事業 繰越財源充当額	予算現額
		4月～9月	10月～3月		
		(第1号)	—		
1 国民健康保険税	3,539,256	0	—	0	3,539,256
2 使用料及び手数料	1	0	—	0	1
3 国庫支出金	3,434,691	0	—	0	3,434,691
4 療養給付費等交付金	808,489	0	—	0	808,489
5 前期高齢者交付金	4,204,743	0	—	0	4,204,743
6 県支出金	809,152	0	—	0	809,152
7 共同事業交付金	2,284,125	0	—	0	2,284,125
8 財産収入	8	0	—	0	8
9 繰入金	1,450,001	0	—	0	1,450,001
10 繰越金	1	162,246	—	0	162,247
11 諸収入	19,279	0	—	0	19,279
合 計	16,549,746	162,246	—	0	16,711,992

(歳出)

(単位 千円)

科 目	当初予算額	補正予算額		継続費及び 繰越事業繰越額	予備費支出及 び流用増減額	予算現額
		4月～9月	10月～3月			
		(第1号)	—			
1 総務費	80,759	0	—	0	0	80,759
2 保険給付費	10,839,075	0	—	0	0	10,839,075
3 後期高齢者支援金等	2,278,803	0	—	0	0	2,278,803
4 前期高齢者納付金等	4,955	0	—	0	0	4,955
5 老人保険拠出金	1,278	0	—	0	0	1,278
6 介護納付金	898,615	0	—	0	0	898,615
7 共同事業拠出金	2,158,586	0	—	0	0	2,158,586
8 保健事業費	249,780	0	—	0	0	249,780
9 基金積立金	8	0	—	0	0	8
10 公債費	2,021	0	—	0	0	2,021
11 諸支出金	16,455	169,984	—	0	0	186,439
12 予備費	19,411	-7,738	—	0	0	11,673
合 計	16,549,746	162,246	—	0	0	16,711,992

## 2 歳入歳出の執行状況（平成24年9月30日現在）

歳入の執行状況は、上半期の収入済額が63億1,860万8千円となっており、予算現額に対する収入の割合は37.81%となっています。

一方、歳出の執行状況は、上半期の支出済額が77億5,076万6千円となっており、予算現額に対する支出の割合は46.38%となっております。

（歳入）

（単位 千円）

科 目	予算現額	収 入 済 額			収入割合
		4月～9月	10月～3月	計	
1 国民健康保険税	3,539,256	1,269,985	—	1,269,985	35.88%
2 使用料及び手数料	1	0	—	0	0.00%
3 国庫支出金	3,434,691	1,303,517	—	1,303,517	37.95%
4 療養給付費等交付金	808,489	251,558	—	251,558	31.11%
5 前期高齢者交付金	4,204,743	1,833,651	—	1,833,651	43.61%
6 県支出金	809,152	330,846	—	330,846	40.89%
7 共同事業交付金	2,284,125	759,646	—	759,646	33.26%
8 財産収入	8	24	—	24	297.10%
9 繰入金	1,450,001	391,794	—	391,794	27.02%
10 繰越金	162,247	162,248	—	162,248	100.00%
11 諸収入	19,279	15,339	—	15,339	79.57%
合 計	16,711,992	6,318,608	—	6,318,608	37.81%

※表示単位未満四捨五入のため、積み上げた数値とその合計値は必ずしも一致しません。

（歳出）

（単位 千円）

科 目	予算現額	支 出 済 額			支出割合
		4月～9月	10月～3月	計	
1 総務費	80,759	33,138	—	33,138	41.03%
2 保険給付費	10,839,075	5,407,347	—	5,407,347	49.89%
3 後期高齢者支援金等	2,278,803	952,601	—	952,601	41.80%
4 前期高齢者納付金等	4,955	1,050	—	1,050	21.20%
5 老人保険拠出金	1,278	455	—	455	35.60%
6 介護納付金	898,615	381,519	—	381,519	42.46%
7 共同事業拠出金	2,158,586	899,406	—	899,406	41.67%
8 保健事業費	249,780	50,781	—	50,781	20.33%
9 基金積立金	8	0	—	0	0.00%
10 公債費	2,021	0	—	0	0.00%
11 諸支出金	186,439	24,469	—	24,469	13.12%
12 予備費	11,673	0	—	0	0.00%
合 計	16,711,992	7,750,766	—	7,750,766	46.38%

※表示単位未満四捨五入のため、積み上げた数値とその合計値は必ずしも一致しません。

### 3 保険給付費の状況（平成24年9月30日現在）

歳出の中心となる保険給付費の上半期における支出額は54億734万7千円で、前年同期と比べて2億1,658万円、率にして4.17%増加しております。

医療費の削減対策として、今後もレセプト点検による医療費の適正化、特定健診等を始めとする保険事業の実施に努め、また保険税の収納率の向上にも努め、健全な国民健康保険事業の財政運営を実施してまいります。

### 4 一時借入金の現在高（平成24年9月30日現在）

（単位 円）

区 分	予算で定められた 限度額	平成24年 4月1日 現在高	平成24年度 4～9月		平成24年 9月30日 現在高	平成24年度 4～9月中 最高借入額
			借入額累計	償還額累計		
国民健康保険 特別会計	500,000,000	0	0	0	0	0

平成24年度入間市後期高齢者医療特別会計財政状況の概要  
(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

1 予算の状況(平成24年9月30日現在)

入間市後期高齢者医療特別会計の予算現額は、当初予算額12億3,888万6千円に対し、その後1回の補正を行い596万6千円を増額したことにより、予算現額12億4,485万2千円となっております。

上半期の補正予算の主な内容は、歳入では平成23年度決算確定に伴う繰越金によるものであり、歳出では広域連合納付金、平成23年度の一般会計繰入金の超過分を一般会計に繰り出す繰出金によるものです。

(歳入)

(単位 千円)

科 目	当初予算額	補正予算額		継続費及び 繰越事業 繰越財源充当額	予算現額
		4月～9月	10月～3月		
		(第1号)	—		
1 後期高齢者医療保険料	1,023,180	0	—	0	1,023,180
2 使用料及び手数料	1	0	—	0	1
3 繰入金	212,542	0	—	0	212,542
4 繰越金	1	5,966	—	0	5,967
5 諸収入	3,162	0	—	0	3,162
合 計	1,238,886	5,966	—	0	1,244,852

(歳出)

(単位 千円)

科 目	当初予算額	補正予算額		継続費及び 繰越事業繰越額	予備費支出及 び流用増減額	予算現額
		4月～9月	10月～3月			
		(第1号)	—			
1 総務費	22,735	0	—	0	0	22,735
2 後期高齢者医療広域連合納付金	1,212,039	4,276	—	0	0	1,216,315
3 諸支出金	3,060	1,686	—	0	0	4,746
4 予備費	1,052	4	—	0	0	1,056
合 計	1,238,886	5,966	—	0	0	1,244,852

## 2 歳入歳出の執行状況（平成24年9月30日現在）

歳入の執行状況は、上半期の収入済額が4億3,125万4千円となっており、予算現額に対する収入の割合は34.64%となっています。

一方、歳出の執行状況は、上半期の支出済額が4億4,102万2千円となっており、予算現額に対する支出の割合は35.43%となっております。

### （歳入）

（単位 千円）

科 目	予算現額	収 入 済 額			収入 割合
		4月～9月	10月～3月	計	
1 後期高齢者医療保険料	1,023,180	423,756	—	423,756	41.42%
2 使用料及び手数料	1	1	—	1	80.00%
3 繰入金	212,542	0	—	0	0.00%
4 繰越金	5,967	5,967	—	5,967	100.00%
5 諸収入	3,162	1,531	—	1,531	48.40%
合 計	1,244,852	431,254	—	431,254	34.64%

※表示単位未満四捨五入のため、積み上げた数値とその合計値は必ずしも一致しません。

### （歳出）

（単位 千円）

科 目	予算現額	支 出 済 額			支出 割合
		4月～9月	10月～3月	計	
1 総務費	22,735	10,319	—	10,319	45.39%
2 後期高齢者医療広域連合納付金	1,216,315	429,112	—	429,112	35.28%
3 諸支出金	4,746	1,591	—	1,591	33.53%
4 予備費	1,056	0	—	0	0.00%
合 計	1,244,852	441,022	—	441,022	35.43%

※表示単位未満四捨五入のため、積み上げた数値とその合計値は必ずしも一致しません。

平成24年度介護保険特別会計財政状況の概要  
(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

1 予算の状況(平成24年9月30日現在)

介護保険特別会計の予算現額は、当初予算額6億5,479万4千円に対し、その後1回の補正を行い2億3,787万4千円を増額したことにより、予算現額6億8,266万8千円となっております。

上半期の補正予算の主な内容は、歳入では国庫負担金、一般会計繰入金、繰越金の増額によるものであり、歳出では介護給付費準備基金への積立金の増額によるものです。

(歳入)

(単位 千円)

科 目	当初予算額	補正予算額		継続費及び 繰越事業 繰越財源充当額	予算現額
		4月～9月	10月～3月		
		(第1号)	—		
1 保険料	1,697,896	0	—	0	1,697,896
2 使用料及び手数料	1	0	—	0	1
3 国庫支出金	1,193,026	24,766	—	0	1,217,792
4 支払基金交付金	1,854,032	0	—	0	1,854,032
5 県支出金	980,384	45,404	—	0	1,025,788
6 財産収入	135	0	—	0	135
7 繰入金	919,164	0	—	0	919,164
8 繰越金	10,000	167,704	—	0	177,704
9 諸収入	156	0	—	0	156
合 計	6,654,794	237,874	—	0	6,892,668

(歳出)

(単位 千円)

科 目	当初予算額	補正予算額		継続費及び 繰越事業繰越額	予備費支出及 び流用増減額	予算現額
		4月～9月	10月～3月			
		(第1号)	—			
1 総務費	80,227	0	—	0	0	80,227
2 保険給付費	6,352,674	0	—	0	0	6,352,674
4 基金積立金	135	188,337	—	0	0	188,472
5 地域支援事業費	211,876	0	—	0	0	211,876
6 諸支出金	7,164	42,211	—	0	0	49,375
7 予備費	2,718	7,326	—	0	0	10,044
合 計	6,654,794	237,874	—	0	0	6,892,668

## 2 歳入歳出の執行状況（平成24年9月30日現在）

歳入の執行状況は、上半期の収入済額が27億0,929万9千円となっており、予算現額に対する収入の割合は39.31%となっております。

一方、歳出の執行状況は、上半期の支出済額が28億0,431万5千円となっており、予算現額に対する支出の割合は40.69%となっております。

### （歳入）

（単位 千円）

科 目	予算現額	収 入 済 額			収入 割合
		4月～9月	10月～3月	計	
1 保険料	1,697,896	742,363	—	742,363	43.72%
2 使用料及び手数料	1	0	—	0	0.00%
3 国庫支出金	1,217,792	527,016	—	527,016	43.28%
4 支払基金交付金	1,854,032	764,288	—	724,743	41.22%
5 県支出金	1,025,788	496,774	—	496,774	48.43%
6 財産収入	135	228	—	228	168.67%
7 繰入金	919,164	0	—	0	0.00%
8 繰越金	177,704	177,705	—	177,705	100.00%
9 諸収入	156	926	—	926	593.54%
合 計	6,892,668	2,709,299	—	2,709,299	39.31%

※表示単位未満四捨五入のため、積み上げた数値とその合計値は必ずしも一致しません。

### （歳出）

（単位 千円）

科 目	予算現額	支 出 済 額			支出 割合
		4月～9月	10月～3月	計	
1 総務費	80,227	29,253	—	29,253	36.46%
2 保険給付費	6,352,674	2,587,097	—	2,587,097	40.72%
4 基金積立金	188,472	0	—	0	0.00%
5 地域支援事業費	211,876	178,472	—	178,472	84.23%
6 諸支出金	49,375	9,493	—	9,493	19.23%
7 予備費	10,044	0	—	0	0.00%
合 計	6,892,668	2,804,315	—	2,804,315	40.69%

※表示単位未満四捨五入のため、積み上げた数値とその合計値は必ずしも一致しません。

### 3 要介護認定審査の状況

平成24年4月1日～平成24年9月30日

(単位：人)

自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
26	546	440	530	368	286	239	217	2,652

### 4 要介護、要支援認定者数の状況

平成24年9月30日現在

(単位：人)

		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
第1号被保険者		796	672	893	653	588	457	409	4,468
区分	65歳以上 75歳未満	127	117	160	113	93	65	68	743
	75歳以上	669	555	733	540	495	392	341	3,725
第2号被保険者		19	23	45	47	17	22	31	204
合計		815	695	938	700	605	479	440	4,672

平成24年9月30日現在 人口150,161人 内65歳以上32,737人 高齢化率21.8%

### 5 居宅サービス受給者数

平成24年8月利用分

(単位：人)

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
第1号被保険者	352	425	634	458	302	158	111	2,440
第2号被保険者	3	14	34	38	12	8	13	122
合計	355	439	668	496	314	166	124	2,562

## 6 地域密着型サービス受給者数

平成24年8月利用分

(単位：人)

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合 計
第1号 被保険者	2	6	23	27	25	13	9	105
第2号 被保険者	0	1	0	0	0	0	0	1
合 計	2	7	23	27	25	13	9	106

## 7 施設サービス受給者数

平成24年8月利用分

(単位：人)

	介護老人 福祉施設	介護老人 保健施設	介護療養型 医療施設	合 計
第1号被保険者	403	317	84	802
第2号被保険者	5	11	0	16
合 計	408	328	84	820

平成24年度下水道事業特別会計財政状況の概要  
(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

1 予算の状況(平成24年9月30日現在)

下水道事業特別会計の予算現額は、当初予算額23億5,348万7千円に対し、その後1回の補正を行い1,772万4千円を増額したことにより、予算現額23億7,121万1千円となっております。

上半期の補正予算の主な内容は、歳入では繰入金、繰越金によるものであり、歳出では公共下水道維持管理事業の補修工事費、事務費によるものです。

(歳入) (単位 千円)

科 目	当初予算額	補正予算額		継続費及び 繰越事業 繰越財源充当額	予算現額
		4月～9月	10月～3月		
		(第1号)	—		
1 分担金及び負担金	2,226	0	—	0	2,226
2 使用料及び手数料	1,431,520	0	—	0	1,431,520
4 寄附金	1	0	—	0	1
5 繰入金	680,000	-30,000	—	0	650,000
6 繰越金	30,000	47,724	—	0	77,724
7 諸収入	1,040	0	—	0	1,024
8 市債	208,700	0	—	0	208,700
計	2,353,487	17,724	—	0	2,371,211

(歳出) (単位 千円)

科 目	当初予算額	補正予算額		継続費及び 繰越事業繰越額	予備費支出及 び流用増減額	予算現額
		4月～9月	10月～3月			
		(第1号)	—			
1 総務費	879,209	18,255	—	0	0	897,464
2 事業費	275,562	0	—	0	0	275,562
3 公債費	1,194,072	0	—	0	0	1,194,072
4 予備費	4,644	-531	—	0	0	4,113
合 計	2,353,487	17,724	—	0	0	2,371,211

## 2 歳入歳出の執行状況（平成24年9月30日現在）

歳入の執行状況は、上半期の収入済額が8億3,304万2千円となっており、予算現額に対する収入の割合は35.13%となっています。

一方、歳出の執行状況は、上半期の支出済額が7億5,753万4千円となっており、予算現額に対する支出の割合は31.95%となっております。

### （歳入）

（単位 千円）

科 目	予算現額	収 入 済 額			収入 割合
		4月～9月	10月～3月	計	
1 分担金及び負担金	2,226	614	—	614	27.60%
2 使用料及び手数料	1,431,520	586,459	—	586,459	40.97%
4 寄附金	1	8,194	—	8,194	819,400.00%
5 繰入金	650,000	160,000	—	160,000	24.62%
6 繰越金	77,724	777,724	—	777,724	100.00%
7 諸収入	1,040	51	—	51	4.89%
8 市債	208,700	0	—	0	0.00%
合 計	2,371,211	833,042	—	833,042	35.13%

※表示単位未満四捨五入のため、積み上げた数値とその合計値は必ずしも一致しません。

### （歳出）

（単位 千円）

科 目	予算現額	支 出 済 額			支出 割合
		4月～9月	10月～3月	計	
1 総務費	897,464	228,317	—	228,317	25.44%
2 事業費	275,562	75,741	—	75,741	27.49%
3 公債費	1,194,072	453,476	—	453,476	37.98%
4 予備費	4,113	0	—	0	0.00%
合 計	2,371,211	757,535	—	757,535	31.95%

※表示単位未満四捨五入のため、積み上げた数値とその合計値は必ずしも一致しません。

3 下水道事業の執行状況（平成24年9月30日現在）

（上半期に執行した主要な事業）

事業名	事業内容
舗装本復旧工事（その1）	舗装工 48.90 m <sup>2</sup>
霞川雨水13号幹線工事 ※北口区画分	総線路延長 147.30m（23・24年度継続事業）

4 市債の元利償還額、借入額及び市債残高（平成24年9月30日現在）

（単位 円）

区分	平成24年 4月1日 現在高	平成24年度 4～9月の 借入額	平成24年度 4～9月の償還額			平成24年 9月30日 現在高
			元金	利子	計	
下水道債	11,813,377,512	0	318,452,892	135,023,279	453,476,171	11,494,924,620

平成24年度武蔵藤沢駅周辺土地区画整理事業特別会計財政状況の概要  
(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

1 予算の状況(平成24年9月30日現在)

武蔵藤沢駅周辺土地区画整理事業特別会計の予算現額は、当初予算額1億7,900万円に前年度からの繰越事業費1億3,650万2千円を加えたものに対し、その後1回の補正を行いました。歳入歳出予算総額に変更はなく、予算現額は3億1,550万2千円となっております。

上半期の補正予算の主な内容は、歳入で前年度繰越金の確定による繰越金の増額を行い、それに伴い繰入金の減額をしたものです。

(歳入) (単位 千円)

科 目	当初予算額	補正予算額		継続費及び 繰越事業 繰越財源充当額	予算現額
		4月～9月	10月～3月		
		(第1号)	—		
1 事業収入	5,718	0	—	0	5,718
2 国庫支出金	0	—	—	37,500	37,500
4 繰入金	147,000	-30,673	—	80,500	196,827
5 繰越金	26,282	30,673	—	18,502	75,457
合 計	179,000	0	—	136,502	315,502

(歳出) (単位 千円)

科 目	当初予算額	補正予算額		継続費及び 繰越事業繰越額	予備費支出及 び流用増減額	予算現額
		4月～9月	10月～3月			
		(第1号)	—			
1 総務費	49,794	0	—	0	0	49,794
2 事業費	128,092	0	—	136,502	0	264,594
3 予備費	1,114	0	—	0	0	1,114
合 計	179,000	0	—	136,502	0	315,502

## 2 歳入歳出の執行状況（平成24年9月30日現在）

歳入の執行状況は、上半期の収入済額が7,545万7千円となっており、予算現額に対する収入の割合は23.92%となっています。

一方、歳出の執行状況は、上半期の支出済額が3,174万8千円となっており、予算現額に対する支出の割合は10.06%となっています。

（歳入）

（単位 千円）

科 目	予算現額	収 入 済 額			収入 割合
		4月～9月	10月～3月	計	
1 事業収入	5,718	0	—	0	0.00%
2 国庫支出金	37,500	0	—	0	0.00%
4 繰入金	196,827	0	—	0	0.00%
5 繰越金	75,457	75,457	—	75,457	100.00%
合 計	315,502	75,457	—	75,457	23.92%

※表示単位未満四捨五入のため、積み上げた数値とその合計値は必ずしも一致しません。

（歳出）

（単位 千円）

科 目	予算現額	支 出 済 額			支出 割合
		4月～9月	10月～3月	計	
1 総務費	49,794	21,745	—	21,745	43.67%
2 事業費	264,594	10,003	—	10,003	3.78%
3 予備費	1,114	0	—	0	0.00%
合 計	315,502	31,748	—	31,748	10.06%

※表示単位未満四捨五入のため、積み上げた数値とその合計値は必ずしも一致しません。

## 3 武蔵藤沢駅周辺土地区画整理事業の執行状況（平成24年9月30日現在）

（上半期に執行した主要な事業）

事 業 名	事 業 内 容		
舗装等補修工事	舗装等補修工事	117.8 m <sup>2</sup>	1,239,000 円

平成24年度入間都市計画事業入間市駅北口土地区画整理事業特別会計財政状況の概要  
(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

1 予算の状況(平成24年9月30日現在)

入間市駅北口土地区画整理事業特別会計の予算現額は、当初予算額5億4,000万円に前年度からの繰越事業費6,785万5千円を加えたものに対し、その後1回の補正を行い9,975万8千円を増額したことにより、予算現額7億761万3千円となっております。

上半期の補正予算の主な内容は、歳入では一般会計繰入金を増額によるものであり、歳出では物件移転補償の増額によるものです。

(歳入)

(単位 千円)

科 目	当初予算額	補正予算額		継続費及び 繰越事業 繰越財源充当額	予算現額
		4月～9月	10月～3月		
		(第1号)	—		
1 国庫支出金	307,500	-216,000	—	5,280	96,780
2 繰入金	224,700	281,600	—	48,590	554,890
3 繰越金	7,800	34,158	—	13,985	55,943
合 計	540,000	99,758	—	67,855	707,613

(歳出)

(単位 千円)

科 目	当初予算額	補正予算額		継続費及び 繰越事業繰越額	予備費支出及 び流用増減額	予算現額
		4月～9月	10月～3月			
		(第1号)	—			
1 総務費	74,143	0	—	0	0	74,143
2 事業費	464,406	99,800	—	67,855	0	632,061
3 予備費	1,451	-42	—	0	0	1,409
合 計	540,000	99,758	—	67,855	0	707,613

## 2 歳入歳出の執行状況（平成24年9月30日現在）

歳入の執行状況は、上半期の収入済額が5,594万3千円となっており、予算現額に対する収入の割合は7.91%となっています。

一方、歳出の執行状況は、上半期の支出済額が1億2,593万7千円となっており、予算現額に対する支出の割合は17.80%となっています。

（歳入）

（単位 千円）

科 目	予算現額	収 入 済 額			収入 割合
		4月～9月	10月～3月	計	
1 国庫支出金	96,780	0	—	0	0.00%
2 繰入金	554,890	0	—	0	0.00%
3 繰越金	55,943	55,943	—	55,943	100.00%
合 計	707,613	55,943	—	55,943	7.91%

※表示単位未満四捨五入のため、積み上げた数値とその合計値は必ずしも一致しません。

（歳出）

（単位 千円）

科 目	予算現額	支 出 済 額			支出 割合
		4月～9月	10月～3月	計	
1 総務費	74,143	36,288	—	36,288	48.94%
2 事業費	632,061	89,649	—	89,649	14.18%
3 予備費	1,409	0	—	0	0.00%
合 計	707,613	125,937	—	125,937	17.80%

※表示単位未満四捨五入のため、積み上げた数値とその合計値は必ずしも一致しません。

## 3 入間市駅北口土地区画整理事業の執行状況（平成24年9月30日現在）

（上半期に執行した主要な事業）

事 業 名	事 業 内 容	
建物・物件調査委託	建物等調査・再積算	1 棟
街路築造工事	街路築造工事	194m
建物移転補償	建物移転	3 棟

平成24年度入間都市計画事業扇台土地区画整理事業特別会計財政状況の概要  
(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

1 予算の状況(平成24年9月30日現在)

扇台土地区画整理事業特別会計の予算現額は、当初予算額4億9,098万3千円に前年度からの繰越事業費3,630万7千円を加えたものに対し、その後1回の補正を行い1億680万円を増額したことにより、予算現額6億3,409万円となっております。

上半期の補正予算の主な内容は、歳入では国庫補助金交付額の決定による国庫補助金の増、それに伴う一般会計繰入金金の増、また、前年度繰越金額の確定によるものであり、歳出では街路築造工事、汚水管布設工事等の施工箇所及び物件等移転補償箇所の増によるものです。

(歳入)

(単位 千円)

科 目	当初予算額	補正予算額		継続費及び 繰越事業 繰越財源充当額	予算現額
		4月～9月	10月～3月		
		(第1号)	—		
1 事業収入	20,000	0	—	0	20,000
2 国庫支出金	54,000	60,600	—	5,890	120,490
4 繰入金	415,983	25,972	—	20,892	462,847
5 繰越金	1,000	20,228	—	9,525	30,753
合 計	490,983	106,800	—	36,307	634,090

(歳出)

(単位 千円)

科 目	当初予算額	補正予算額		継続費及び 繰越事業繰越額	予備費支出及 び流用増減額	予算現額
		4月～9月	10月～3月			
		(第1号)	—			
1 総務費	60,424	0	—	0	0	60,424
2 事業費	430,097	106,800	—	36,307	0	573,204
3 予備費	462	0	—	0	0	462
合 計	490,983	106,800	—	36,307	0	634,090

## 2 歳入歳出の執行状況（平成24年9月30日現在）

歳入の執行状況は、上半期の収入済額が5,236万6千円となっており、予算現額に対する収入の割合は8.26%となっています。

一方、歳出の執行状況は、上半期の支出済額が1億4,334万7千円となっており、予算現額に対する支出の割合は22.61%となっています。

平成24年度上半期の主な事業としては、建物移転補償を実施いたしました。

（歳入）

（単位 千円）

科 目	予算現額	収 入 済 額			収入割合
		4月～9月	10月～3月	計	
1 事業収入	20,000	721	—	721	3.61%
2 国庫支出金	120,490	0	—	0	0.00%
4 繰入金	462,847	20,892	—	20,892	4.51%
5 繰越金	30,753	30,753	—	30,753	100.00%
合 計	634,090	52,366	—	52,366	8.26%

※表示単位未満四捨五入のため、積み上げた数値とその合計値は必ずしも一致しません。

（歳出）

（単位 千円）

科 目	予算現額	支 出 済 額			支出割合
		4月～9月	10月～3月	計	
1 総務費	60,424	29,681	—	29,681	49.12%
2 事業費	573,204	113,666	—	113,666	19.83%
3 予備費	462	0	—	0	0.00%
合 計	634,090	143,347	—	143,347	22.61%

※表示単位未満四捨五入のため、積み上げた数値とその合計値は必ずしも一致しません。

## 3 扇台土地区画整理事業の執行状況（平成24年9月30日現在）

事 業 名	事 業 内 容
建物移転補償	2棟

平成24年度入間都市計画事業狭山台土地区画整理事業特別会計財政状況の概要  
(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

1 予算の状況(平成24年9月30日現在)

狭山台土地区画整理事業特別会計の予算現額は、当初予算額4億980万円に前年度からの繰越事業費5,996万9千円を加えたものに対し、その後1回の補正を行いました。歳入歳出予算総額に変更なく、予算現額は4億6,976万9千円となっております。

上半期の補正予算の主な内容は、歳入で前年度繰越金の確定による繰越金の増額を行い、それに伴い繰入金の減額をしたものです。

(歳入)

(単位 千円)

科 目	当初予算額	補正予算額		継続費及び 繰越事業 繰越財源充当額	予算現額
		4月～9月	10月～3月		
		(第1号)	—		
1 事業収入	94,200	0	—	0	94,200
2 国庫支出金	49,500	0	—	0	49,500
3 繰入金	264,500	-32,726	—	7,560	239,334
4 繰越金	1,600	32,726	—	52,409	86,735
合 計	409,800	0	—	59,969	469,769

(歳出)

(単位 千円)

科 目	当初予算額	補正予算額		継続費及び 繰越事業繰越額	予備費支出及 び流用増減額	予算現額
		4月～9月	10月～3月			
		(第1号)	—			
1 総務費	52,670	0	—	0	0	52,670
2 事業費	237,014	0	—	59,969	0	296,983
3 公債費	120,069	0	—	0	0	120,069
4 予備費	47	0	—	0	0	47
合 計	409,800	0	—	59,969	0	469,769

## 2 歳入歳出の執行状況（平成24年9月30日現在）

歳入の執行状況は、上半期の収入済額が8,673万5千円となっており、予算現額に対する収入の割合は18.46%となっています。

一方、歳出の執行状況は、上半期の支出済額が1億455万円となっており、予算現額に対する支出の割合は22.26%となっております。

（歳入）

（単位 千円）

科 目	予算現額	収 入 済 額			収入割合
		4月～9月	10月～3月	計	
1 事業収入	94,200	0	—	0	0.00%
2 国庫支出金	49,500	0	—	0	0.00%
3 繰入金	239,334	0	—	0	0.00%
4 繰越金	86,735	86,735	—	86,735	100.00%
合 計	469,769	86,735		86,735	18.46%

※表示単位未満四捨五入のため、積み上げた数値とその合計値は必ずしも一致しません。

（歳出）

（単位 千円）

科 目	予算現額	支 出 済 額			支出割合
		4月～9月	10月～3月	計	
1 総務費	52,670	25,477	—	25,477	48.37%
2 事業費	296,983	79,072	—	79,072	26.63%
3 公債費	120,069	0	—	0	0.00%
4 予備費	47	0	—	0	0.00%
合 計	469,769	104,549	—	104,549	22.26%

※表示単位未満四捨五入のため、積み上げた数値とその合計値は必ずしも一致しません。

## 3 事業の執行状況（平成24年9月30日現在）

街路築造工事及び雨水管布設工事、污水管布設工事などを実施しております。

## 4 市債の元利償還額、借入額及び市債残高（平成24年9月30日現在）

（単位 円）

区 分	平成24年 4月1日 現在高	平成24年度 4～9月の 借入額	平成24年度 4～9月の償還額			平成24年 9月30日 現在高
			元 金	利 子	計	
土地区画整理 事業債	355,800,000	0	0	0	0	355,800,000

平成24年度水道事業会計財政状況の概要  
(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

1 予算の状況(平成24年9月30日現在)

水道事業会計の予算現額は、当初予算額4億5,204千円に前年度からの繰越事業費6,823万1千円を加えたものに対し、その後1回の補正を行い4,361万1千円を増額したことにより、予算現額4億3,704万6千円となっております。

上半期の補正予算の主な内容は、資本的支出では入間市駅北口土地区画整理地内送水管布設工事その2を実施するための工事請負費によるものです。

収益的収入及び支出

(収益的収入)

(単位 千円)

科 目	当初予算額	補正予算額		継続費及び 繰越事業 繰越財源充当額	予算現額
		4月～9月	10月～3月		
		(第1号)	—		
給水収益	2,679,222	0	—	0	2,679,222
その他の営業収益	186,937	0	—	0	186,937
受取利息	12,231	0	—	0	12,231
雑収益	2,988	0	—	0	2,988
過年度損益修正益	1	0	—	0	1
合 計	2,881,379	0	—	0	2,881,379

## (収益の支出)

(単位 千円)

科 目	当初予算額	補正予算額		継続費及び 繰越事業繰越額	予備費支出及 び流用増減額	予算現額
		4月～9月	10月～3月			
		(第1号)	—			
原水及び浄水費	1,093,692	0	—	0	0	1,093,692
配水費	395,778	0	—	0	0	395,778
給水費	140,456	0	—	0	0	140,456
委員会費	241	0	—	0	0	241
業務費	180,137	0	—	0	0	180,137
総係費	77,364	0	—	0	0	77,364
減価償却費	765,870	0	—	0	0	765,870
資産減耗費	35,781	0	—	0	0	35,781
その他の営業費用	1	0	—	0	0	1
支払利息	98,616	0	—	0	0	98,616
雑支出	1	0	—	0	0	1
消費税	7,819	0	—	0	0	7,819
固定資産売却損	1	0	—	0	0	1
過年度損益修正損	4,179	0	—	0	0	4,179
予備費	5,000	0	—	0	0	5,000
合 計	2,804,936	0	—	0	0	2,804,936

資本的收入及び支出

(資本的收入)

(単位 千円)

科 目	当初予算額	補正予算額		継続費及び 繰越事業 繰越財源充当額	予算現額
		4月～9月	10月～3月		
		(第1号)	—		
国庫補助金	23,170	0	—	0	23,170
負担金	85,172	0	—	0	85,172
加入金	48,140	0	—	0	48,140
固定資産売却代金	63	0	—	0	63
他会計貸付金返還金	300,000	0	—	0	300,000
合 計	456,545	0	—	0	456,545

(資本の支出)

(単位 千円)

科 目	当初予算額	補正予算額		継続費及び 繰越事業繰越額	予備費支出及 び流用増減額	予算現額
		4月～9月	10月～3月			
		(第1号)	—			
事務費	71,405	2,846	—	0	0	74,251
水源場建設費	72,900	0	—	0	0	72,900
配水場改良費	493,900	0	—	39,331	0	533,231
配水管改良費	497,665	40,765	—	28,900	0	567,330
量水器費	2,448	0	—	0	0	2,448
固定資産購入費	4,444	0	—	0	0	4,444
企業債償還金	257,506	0	—	0	0	257,506
合 計	1,400,268	43,611	—	68,231	0	1,512,110

## 2 収益的収入及び支出・資本的収入及び支出の執行状況（平成24年9月30日現在）

収益的収入の執行状況は、上半期の収入済額が14億2,503万1千円となっており、予算現額に対する収入の割合は49.46%となっています。主財源である給水収益（水道料金）は、上半期の収入見込み額に対して99.34%となっています。

一方、収益的支出の執行状況は、上半期の支出済額が11億8,595万4千円となっており、予算現額に対する支出の割合は42.28%となっております。主な内容は、県水受水費や鍵山浄水場等管理業務委託などであります。

資本的収入の執行状況は、上半期の収入済額が2億2,691万2千円となっており、予算現額に対する収入の割合は49.70%となっています。

一方、資本的支出の執行状況は、上半期の支出済額が1億8,656万8千円となっており、予算現額に対する支出の割合は12.34%となっております。

### 収益的収入及び支出

（収益的収入）

（単位 千円）

科 目	予算現額	収 入 済 額			収入 割合
		4月～9月	10月～3月	計	
給水収益	2,679,222	1,329,122	—	1,329,122	49.61%
その他の営業収益	186,937	80,155	—	80,155	42.88%
受取利息	12,231	12,227	—	12,227	99.97%
雑収益	2,988	418	—	418	13.99%
過年度損益修正益	1	3,109	—	3,109	310,900%
合 計	2,881,379	1,425,031	—	1,425,031	49.46%

※表示単位未満四捨五入のため、積み上げた数値とその合計値は必ずしも一致しません。

## (収益的支出)

(単位 千円)

科 目	予算現額	支 出 済 額			支出 割合
		4月～9月	10月～3月	計	
原水及び浄水費	1,093,692	450,167	—	450,167	41.16%
配水費	395,778	141,446	—	141,446	35.74%
給水費	140,456	54,659	—	54,659	38.92%
委員会費	241	0	—	0	0.00%
業務費	180,137	72,342	—	72,342	40.16%
総係費	77,364	33,968	—	33,968	43.91%
減価償却費	765,870	382,896	—	382,896	49.99%
資産減耗費	35,781	0	—	0	0.00%
その他の営業費用	1	0	—	0	0.00%
支払利息	98,616	50,400	—	50,400	51.11%
雑支出	1	0	—	0	0.00%
消費税	7,819	0	—	0	0.00%
固定資産売却損	1	0	—	0	0.00%
過年度損益修正損	4,179	76	—	76	1.82%
予備費	5,000	0	—	0	0.00%
合 計	2,804,936	1,185,954	—	1,185,954	42.28%

※表示単位未満四捨五入のため、積み上げた数値とその合計値は必ずしも一致しません。

## 資本的収入及び支出

(資本的収入)

(単位 千円)

科 目	予算現額	収 入 済 額			収入 割合
		4月～9月	10月～3月	計	
国庫補助金	23,170	0	—	0	0.00%
負担金	85,172	43,642	—	43,642	51.24%
加入金	48,140	33,209	—	33,209	68.98%
固定資産売却代金	63	61	—	61	96.83%
他会計貸付金返還金	300,000	150,000	—	150,000	50.00%
合 計	456,545	226,912	—	226,912	49.70%

※表示単位未満四捨五入のため、積み上げた数値とその合計値は必ずしも一致しません。

(資本的支出)

(単位 千円)

科 目	予算現額	支 出 済 額			支出 割合
		4月～9月	10月～3月	計	
事務費	74,251	37,818	—	37,818	50.93%
水源場建設費	72,900	11,445	—	11,445	15.70%
配水場改良費	533,231	0	—	0	0.00%
配水管改良費	567,330	4,206	—	4,206	0.74%
量水器費	2,448	1,420	—	1,420	58.01%
固定資産購入費	4,444	4,018	—	4,018	90.41%
企業債償還金	257,506	127,661	—	127,661	49.58%
合 計	1,512,110	186,568	—	186,568	12.34%

※表示単位未満四捨五入のため、積み上げた数値とその合計値は必ずしも一致しません。

### 3 企業債の元利償還額、借入額及び企業債残高 (平成24年9月30日現在)

(単位 円)

区 分	平成24年 4月1日 現在高	平成24年度 4～9月の 借入額	平成24年度 4～9月の償還額			平成24年 9月30日 現在高
			元 金	利 子	計	
上水道事業債	3,672,979,832	0	127,661,007	50,399,660	178,060,667	3,545,318,825

## II 平成23年度の決算状況

### 1 決算の概要

私達日本人は、平成23年3月11日の東日本大震災とそれらに係る福島第一原子力発電所の事故により、歴史上最大とも言える災禍に見舞われました。特に津波によって多くの命が奪われ、原発事故によってふる里を追われた方も数多く、また、放射性物質の拡散によって農水産物等を中心に直接的、間接的被害が発生し、震災関係者を苦しめ続けています。そして大震災から1年数ヶ月後においても復興への具体的取り組みは殆ど進んでおりません。がれきと呼ばれる膨大な震災廃棄物の処分についても地方自治体の善意に頼るなど、政府の場当りの対応が被災自治体の政治不信を招いています。

今、日本の財政は国債残高世界一と言われ、人口減少、少子高齢化の社会構造が重くのしかかる中で、巨額の震災復興経費をどう確保するのか、社会保障の充実による安心社会の構築をどう図り、加えて健全財政の実現にどう取り組むのかという三重苦とも言える課題の解決を迫られています。

政府は、社会保障と税の一体改革の一環として自公の協力を得ながら消費税増税法案を提出し、可決されました。しかし、このような応急措置によって日本の財政構造が改善されるのか、国際競争力の強化が図られるのかなどの問題点を分かりやすく国民に説明し、協力を求めているかなければならないと思います。このような中で、地方自治体は住民に身近な組織体として多様化する行政需要に応えながら、安全で安心な地域づくりを行うという大きな役割を担っています。

平成23年度における当市の財政状況は、歳入では、平成22年度に6億3千万円を超える減収となった市税がわずかな回復に止まりましたが、普通交付税が引き続き交付され、臨時財政対策債を活用することによって財源を確保することができました。

また、歳出では、「行政改革長期プラン前期実行計画」による経常的経費の見直し等を行うとともに、継続的な諸施策である「健康・福祉の増進」、「環境への配慮」、「教育・文化の振興」に積極的に取り組み、『元気な入間』のまちづくりを推進いたしました。特に、震災直後の避難者支援や節電対策等については、東日本大震災対策会議を設置し、全庁的な対応を図ったところであります。

各会計の予算執行につきましては、事業進捗上やむを得ない理由で一部の事業は繰越措置をいたしました。予定した事業は概ね執行できました。

## 2 歳入歳出決算額の状況

平成23年度の一般会計と特別会計における歳入歳出決算額は、下記のとおりとなっております。

(単位 千円)

会 計	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出 差引額	翌年度へ繰り 越すべき財源	実質収支額
一 般 会 計	39,160,701	38,045,574	1,115,127	323,024	792,103

特 別 会 計	国民健康保険	15,512,268	15,350,020	162,248	0	162,248
	後期高齢者医療	1,118,285	1,112,318	5,967	0	5,967
	介護保険	6,550,362	6,372,657	177,705	0	177,705
	下水道事業	2,400,015	2,322,291	77,724	0	77,724
	武蔵藤沢駅周辺 土地区画整理事業	315,717	240,260	75,457	18,502	56,955
	入間市駅北口 土地区画整理事業	643,658	587,715	55,943	13,985	41,958
	扇台 土地区画整理事業	593,407	562,654	30,753	9,525	21,228
	狭山台 土地区画整理事業	667,708	580,973	86,735	52,409	34,326

水道事業会計	収入決算額	支出決算額	翌年度繰越額
収益的収入及び支出	2,909,406	2,784,491	0
資本的収入及び支出	447,357	861,795	68,231

### 3 資 料

#### 会計別決算の状況

一般会計	4 5
国民健康保険特別会計	6 2
後期高齢者医療特別会計	6 4
介護保険特別会計	6 5
下水道事業特別会計	6 8
入間都市計画事業武蔵藤沢駅周辺土地区画整理事業特別会計	7 0
入間都市計画事業入間市駅北口土地区画整理事業特別会計	7 1
入間都市計画事業扇台土地区画整理事業特別会計	7 2
入間都市計画事業狭山台土地区画整理事業特別会計	7 3
水道事業会計	7 4

## 平成23年度一般会計決算の状況

### 1 決算の概要

平成23年度の一般会計歳入歳出については、歳入総額391億6,070万717円、歳出総額380億4,557万3,916円、差引額11億1,512万6,801円となり、翌年度への繰越額3億2,302万4千円を除き、実質収支額は7億9,210万3千円で決算いたしました。

### 歳入について

「市税」は、212億6,965万976円、前年度に比較し、7,024万8,049円、率にして0.3%の増加となり、歳入総額に占める割合は54.3%であります。

市民税の現年課税分は、決算額93億9,412万7,230円、前年度対比0.8%の減であります。この内訳は、個人分では、納税義務者数の増加はあるものの、景気の低迷により個々の所得が減少したため、前年度対比1.9%の減であります。法人分では、企業収益の回復により前年度対比6.6%の増であります。

固定資産税の現年課税分は、決算額90億2,676万5,338円で、前年度対比0.2%の減であります。この要因は、新增築分の家屋評価額の増があったものの、地価の下落に応じた時点修正による土地評価額の減及び、償却資産の新設・更新が少なかったことによる償却資産評価額の減が大きかったことによるものです。

軽自動車税の現年課税分は、四輪乗用自家用車の登録台数の増加等により、決算額1億7,857万3,701円、前年度対比2.7%の増であります。

市たばこ税は、近年の健康志向等、喫煙環境の変化により喫煙率が低下しているものの、一昨年のたばこ税の税率変更の影響により、決算額は8億4,456万4,040円、前年度対比10.7%の増であります。

都市計画税の現年課税分は、決算額13億3,975万7,245円で、前年度対比0.4%の減であります。この要因は、概ね固定資産税と同様の理由によるものです。

市税の収納率は、現年課税分が97.74%と前年度対比で0.13ポイント上回りました。滞納繰越分についても18.87%と前年度対比で3.15ポイント上回り、市税全体では、90.35%と前年度対比で0.06ポイント上昇しました。

「地方譲与税」は、地方揮発油譲与税及び自動車重量譲与税が主なものですが、ガソリン消費量の低下により、決算額は3億4,008万420円で、前年度対比2.4%の減であります。

「地方消費税交付金」は、個人消費の減少等により、決算額は11億9,631万8千円、前年度対比2%の減であります。

「自動車取得税交付金」は、震災による自動車生産体制の混乱等により、決算額は7,790万2千円、前年度対比42%の大幅な減であります。

「地方特例交付金」は、児童手当特例交付金の一部廃止により、決算額は2億6,592万6千円、前年度対比1%の減であります。

「地方交付税」は、市税等の減収により財源不足が増加するとともに、震災対応の特別交付税

が増額したため、決算額は16億3,805万円、前年度対比6.8%の増であります。

「国庫支出金」は、生活保護費負担金の増額等により、決算額は49億1,662万3,310円、前年度対比3.9%の増であります。

「県支出金」は、子宮頸がん等ワクチン補助金の交付等により、決算額21億1,440万9,172円、前年度対比8.7%の増であります。

「市債」は、適債事業を精査し19件、33億9,458万8千円の借り入れを行いました。このうち、普通交付税の振替財源である臨時財政対策債は18億6,088万8千円を借り入れました。

## 歳出について

### <総務費関係>

有功表彰事業では、永年にわたり市政の振興に貢献された11人の方々を入間市表彰条例に基づき表彰させていただくとともに、市行政に深い理解を示され多大な寄附をいただいた1人、7団体に感謝状を贈らせていただきました。

秘書事務費では、市制施行45周年という節目の年に当たり、ささやかながら記念式典を開催し、市政の振興に永年貢献された17人の方々に特別表彰を行うとともに、3人の方に感謝状を贈らせていただきました。

広報事業では、市民生活に必要な各種の行政情報や、元気な入間の人・まち・自然の話題等を広報するま、市公式ホームページ及び市公式モバイルサイトをはじめ、ケーブルテレビやFMラジオでの番組放送を活用し情報発信に努めました。

広聴事業では、市政運営の基礎資料とするため第10回市民意識調査を実施しました。平和都市宣言推進啓発事業では、平和祈念資料展を博物館で開催したほか、平和ポスターコンクール、平和バスツアー、平和を考える講演会を開催するとともに、公募による市民5人を広島市平和記念式典へ派遣しました。

男女共同参画推進事業では、「入間市男女共同参画推進条例」を具現化するために、第3次いるま男女共同参画プランを策定しました。

協働のまちづくり推進事業では、昨年度創設した市民提案型協働事業について、従来の自由提案事業に加えてテーマ設定提案事業を開始し、審査の結果、7件の提案が採択され、介護、子育て、まちおこし、地域振興等に関する協働事業を実施することができました。

恒例の入間万燈まつりについては、10月22日、23日の両日、多くの市民の参加と協力により盛大に開催することができました。

姉妹都市・友好都市交流事業では、姉妹都市である新潟県佐渡市、ドイツ・ヴォルフラーツハウゼン市との間で周年記念事業を実施し、両市の更なる交流を推進することができました。なお、友好都市である中国・奉化市との交流事業は震災発生等の理由により中止いたしました。

国際化推進事業では、外国人相談事業や情報提供事業、さらには国際交流協会との連携による日本語教室等を通じ、外国人市民の支援と国際理解の推進に取り組みました。

市民会館・産業文化センター・文化創造アトリエでは、経年劣化が進む施設及び設備の修繕を

行い、市民サービスの向上と利用者の安全確保に努めました。

防災訓練実施事業では、8月21日に全121自主防災会を含めた関係機関175団体から22,446人の参加を得て訓練を実施しました。新たに市内の指定避難所2ヶ所で避難所の宿泊を伴った体験型の訓練を実施するとともに、地域の力として次代を担う中学生の参加による負傷者搬送訓練、避難者名簿作成訓練等を実施しました。

国民保護訓練実施事業では、9月28日に三井アウトレットパーク入間を会場に、入間市医師会、関係機関等15団体の連携のもと、宮寺・二本木地区の住民各位を中心に412人の参加を得て訓練を実施しました。

防犯関係事業では、各地域で活発に活動しているAPOC(アポック)及び自主防犯活動団体に、資機材の支援を行いました。多発する街頭犯罪と振り込め詐欺被害を防止するため、各種団体の協力を得て、積極的に街頭啓発活動及び防犯パトロールを実施しました。

交通安全施設整備事業では、道路照明灯や道路反射鏡の設置及び維持管理を実施し、交通危険箇所の安全対策を図りました。

市内循環バス運行事業では、引き続き、北・南・東西コースの3路線で、それぞれ1日当たり上り3便、下り4便を運行しました。

#### <民生費関係>

住宅手当緊急特別措置事業では、住宅を喪失若しくは喪失するおそれのある離職者に住宅手当を支給し、住宅及び就労機会の確保に向けた支援を行いました。

地域生活支援事業では、障害があっても地域で安心して生活し、仕事ができるよう相談支援事業と就労支援事業を実施しながら、関係機関とも密接な連携を図りつつ、障害者への支援の充実を図りました。

高齢者等地域ネットワーク支援事業では、高齢者等が住み慣れた地域で安心して生活が送れるよう、一人暮らしの高齢者世帯等を対象として、民生委員・児童委員の協力により緊急医療情報キットと熱中症計を配布いたしました。また、入間市高齢者等地域ネットワーク推進会が運営する入間市高齢者等見守りネットワーク「元気でいるネ！ット」及び入間市高齢者等在宅介護・医療ネットワーク「在宅ケアネットいるま」の活動を支援いたしました。

民間保育所増改築整備事業補助金では、「いるま保育園」の改築を支援するとともに、一時預かり保育事業を行う施設整備を支援しました。

保育所耐震化推進事業では、入間市建築物耐震改修促進計画に基づき、公立保育所7施設の耐震一次診断を実施しました。

用地取得事業では、平成22年度の繰越事業として、黒須保育所の用地を取得しました。

子ども医療費扶助では、平成23年4月から通院分の対象年齢を小学校2年生まで拡大し、子育て家庭の経済的負担の軽減を図りました。

生活保護扶助では、引き続き保護世帯が増加しましたが、被保護者の生活保障と自立を図るため、生活保護法に基づく適正な保護の実施と指導・助言に努めました。

#### < 衛生費関係 >

環境の保全及び創造に資する助成事業では、住宅用太陽光発電システムを設置する世帯に設置費用の一部を助成し、環境負荷の少ない社会づくりを推進しました。

ISO14001推進事業では、ダイヤ4市による合同自己宣言の下、協働監査による環境マネジメントシステムの推進を図り、節電対策を中心として環境負荷の削減に努めました。

公害対策事業では、市内の実態把握を目的に各種公害関係調査を実施するとともに、野焼き行為や水質汚濁等への苦情に対し、迅速に現場対応を実施して環境の保全に努めました。また、新たに市内公共施設の空間放射線量調査を実施し、市民の不安解消に努めました。

子宮頸がん等ワクチン接種事業では、子宮頸がんの予防を図るため、13歳（中学1年相当）から16歳（高校1年相当）の女子に対する子宮頸がん予防ワクチン予防接種費用の全額助成を、また、小児髄膜炎等の予防を図るため、5歳未満の乳幼児に対するヒブワクチン及び小児用肺炎球菌ワクチン予防接種費用の全額助成を実施しました。

高齢者予防接種事業では、高齢者のインフルエンザへの感染防止を図るため、65歳以上の高齢者等に対するインフルエンザ予防接種費用の一部助成を、また、高齢者の肺炎球菌による肺炎への罹患防止を図るため、70歳以上の高齢者に対する肺炎球菌予防接種費用の一部助成を引き続き実施しました。

妊婦健診事業では、妊婦の健康保持及び安全な出産を目的に、引き続き一般健康診査14回分及び超音波検査4回分のほか、新たにHTLV-1（ヒトT細胞白血病ウイルス1型）抗体検査等の公費助成を実施しました。

健康づくり推進事業では、健康づくりネットワークの構築に向け、宮寺・二本木地区、東金子地区、西武地区に続き、金子地区において各種健康づくり事業を実施しました。

市民清掃デー実施事業では、市民総ぐるみの環境美化活動として市民清掃デーを実施し、37,160世帯の参加がありました。

ごみ減量化・資源化事業では、資源再利用奨励補助事業をはじめとした補助金の交付や、あおぞらフリーマーケット等のイベントを実施し啓発活動を行いました。

ごみ排出量は、市民や事業者によるごみの分別等の協力を得て、ごみの減量化・資源化を進めましたが、前年度対比では微増となるものの、資源化率は向上させることができました。

#### < 労働費関係 >

雇用情勢の悪化に対処するため、国の緊急経済対策で創設された埼玉県のみと雇用再生基金及び緊急雇用創出基金を活用して、15事業107名の緊急雇用を実施しました。

求職者と求人企業との架け橋となる「元気な入間雇用情報支援システム」は、多くの方に利用していただいております。

労働関係の諸問題の事前防止や早期解決を図るために「労働相談」を毎月実施しました。また、職業選択に関する悩みや面接試験時の不安など、就職に関する「若年者就業相談」も毎月実施し、若年者の就職につながるよう努めました。

高齢者の雇用機会の拡大のため、入間市シルバー人材センターを引き続き支援しました。

#### <農林水産業費関係>

東京電力福島第一原子力発電所の事故により、当市の特産狭山茶は、甚大な被害を受けました。埼玉県では、安全安心を第一に、徹底した農畜産物の放射性物質の検査を実施し、狭山茶の若芽・早摘み茶の全銘柄の調査を行いました。

この上で、当市では、「24年産の新茶生産に向けた放射性物質の影響調査」に対し、検査費用の一部を助成しました。この検査により、茶葉の放射性物質が激減したことが証明され、茶生産者をはじめ多くの関係者が安心して新茶の生産に取り組むことが出来ました。

環境保全型農業振興事業では、有機特産物、特別栽培農産物等による安全な農産物や環境にやさしい農業を推進するため、農薬の使用量削減を図る環境配慮資材並びに、農業廃棄物の削減に繋がる「生分解性マルチシート」の使用推進を図りました。

畜産振興事業では、各畜産団体が積極的に取り組む「畜産環境浄化事業」や「有機堆肥利用促進事業」に助成を行い、「防疫促進事業」では家畜の安全で安定した飼育を行うため、伝染病に対する防疫体制の維持、促進を図りました。

#### <商工費関係>

商業振興事業では、商工会や各地区の商店街等が実施する販売促進事業やイベント、大学との連携による中心市街地活性化推進事業等を支援し、集客の拡大を図りました。

また、埼玉県の緊急雇用創出基金市町村事業費補助金を活用し、商店街実態調査を実施し、商店街の実態把握に努めました。

工業振興事業では、特定地域工場設置事業等補助事業により企業誘致に努めるとともに、経済不況の直接的影響を受ける市内の中小事業所に、雇用安定や生産調整を支援する国の制度を紹介し、各事業所の雇用の維持や経営安定を支援しました。

また、企業人権・同和対策事業では、市内の各種の事業所を対象に人権と労働問題に関する講演会を開催し、労使間の意識向上に努めました。

#### <土木費関係>

道路等の整備事業では、橋りょうの長寿命化修繕計画の策定に向け、150橋の点検調査を行うとともに、市道C513号線道路改良工事等11件、道路等緊急補修工事149件、市道幹41号線等の舗装補修工事11件、合計171件の工事を実施しました。

建築物耐震改修等促進事業では、木造住宅の地震に対する安全性の向上を図り、地震に強い住宅の整備を促進するため、6件の耐震診断に費用の一部助成を実施しました。

また、市道拡幅整備事業として、建築物の建築等に伴い、「入間市道路拡幅整備要綱」に基づき66件、893.04㎡の道路用地を寄附等により提供いただき、幅員4m未満の道路の拡幅整備を推進しました。

都市計画道路整備事業では、安川新道線の上藤沢郵便局付近から藤沢中学校入口交差点までの区間について、面積425㎡の用地を取得し、用地取得予定面積約1,438㎡のうち用地取得面積の総計が642㎡となり、取得率は44.6%であります。

市営住宅については、耐震化を図るため、下河原団地1号棟耐震補強等工事及び池ノ下団地3

号棟耐震補強等工事实設計業務委託を実施しました。

公園等管理事業では、乳幼児からお年寄りまでが安心して公園を利用できるよう、引き続き施設の修繕及び遊具の点検並びに樹木管理を行いました。また、公園等整備事業で「黒須第二子ども広場」の確保のため、用地取得を行いました。

加治丘陵対策事業では、特定防衛施設周辺整備調整交付金や社会資本整備総合交付金により、保全用地の取得を進めました。この結果、加治丘陵さとやま計画区域の用地取得面積は、約90.4haとなり、武蔵野音楽学園敷地の40haを除く384haでの取得率は約23.5%であります。また、自然公園区域110.2haでは、約2.7haの用地取得を行い、取得面積の合計は約44.6haとなり、取得率は約40.4%であります。

また、「加治丘陵さとやま自然公園見直し計画」に基づき、平成22年度から整備を進めてきました最初の施設である「山仕事の広場」が完成しました。

緑化推進事業及び市民の森整備事業では「保護樹林」、「市民の森」の維持管理及び生け垣設置奨励金の交付並びに花いっぱい運動の推進など都市緑化及び家庭内緑化の推進を図りました。

自然保護事業では、自然保護思想の普及啓発を目的に自然展、野鳥展、自然かんさつ会を実施し、また、谷田の泉をはじめとする市内の大切な自然環境や希少動植物の保全に努めました。

#### <消防費関係>

常備消防では、救急活動の安全及び円滑化を図るため、最新の資機材を装備した高規格救急自動車を本署に配備しました。また、救急救命士の養成をはじめ、救急隊員の教育訓練の充実を図るとともに、多種多様化する災害や業務に対処できる職員を養成するための研修受講を進め、知識・技術・技能の向上を図りました。

非常備消防では、消防団第5分団第3部（藤沢地区）と消防団第6分団第2部（二本木地区）の消防ポンプ自動車を震災対策用の初期救助資機材を積載する最新の車両に更新し、地域防災の充実強化を図り、更に消防団員の活動等をホームページ、ケーブルテレビ・FMラジオ放送を活用して広報し、団員募集の強化に努めました。

#### <教育費関係>

小・中学校及び幼稚園の施設整備と学校教材の充実に努め、より良い教育環境の改善と教育の向上を図り、安全で安心できる学校づくりに努めました。

施設整備については、学校施設耐震化推進計画に基づき、西武小学校校舎及び向原中学校校舎の耐震補強等工事、西武小学校校舎改築工事、継続費により金子中学校校舎改築工事及び武蔵中学校校舎改築工事を実施しました。また、学校施設の環境改善を図るため、藤沢小学校給食室改修工事及び狭山小学校普通教室増設工事等を実施しました。

教育体制については、地域に根ざした特色ある学校教育を通じて、人間を愛する子どもの育成を図るとともに、児童生徒に基礎的・基本的な学力を確実に身に付けさせるため、個に応じたきめ細やかな指導を実施しました。

また、生徒指導、教育相談及び適応指導教室等の不登校対策事業を継続してきた結果、不登校児童生徒の減少に繋がりました。

子ども未来室推進事業については、幼児期から小学校期への円滑な接続を行うため、「遊びと学びの手引き」と「育ちの記録シート」の作成・配布、「親の学習講座」の充実を図りました。更に、「巡回支援」を積極的に実施し「幼児の通級指導教室」の拡充を図ることで、発達障害に対する支援を強化しました。

学校給食では、老朽化した調理機器の計画的な入れ替えを行い、食中毒の防止に努めました。また、東日本大震災の影響により、献立を急遽変更せざるを得ない状況となったことや、放射能汚染により食材の選定については、これまで以上に注意が必要となりましたが、安全・安心でおいしい給食を提供しました。

社会教育事業として、人権教育の推進、家庭教育の向上、青少年教育の充実等に取り組みました。

生涯学習推進事業では、学習情報の収集や提供を行い、市民の学習機会の充実を図りました。また、第17回いるま生涯学習フェスティバルを市制施行45周年記念事業として開催しました。公民館では、通学合宿等の主催事業のほか、市民の学習成果の発表の場として美術展や文化祭等を開催しました。また、高齢者を対象とした事業や市民の企画運営による子育て支援講座を実施しました。施設改修は、扇町屋公民館空調設備改修工事や藤の台公民館集会室床改修工事等を実施しました。

児童センターでは、ボランティア会との協働による夏休み企画等の各種事業のほか、市制施行45周年記念事業として児童センターまつりを開催しました。

青少年活動センターでは、周辺の恵まれた自然環境を活かし、子ども達がさまざまな体験を通じて、創造性や自主性を育む事業を実施しました。なお、4月30日まで、東日本大震災の一時避難所として、総勢41名の避難者を支援しました。

図書館では、情報ネットワークシステムを更新して、各種サービスの充実を図りました。また、国の交付金や県の補助金を有効活用し、子どもたちの調べ学習に対応する参考図書資料等を購入するとともに、快適な読書環境整備を実施しました。

博物館では、お茶大学等のお茶関係の事業、博学連携事業等を実施しました。また、市制施行45周年記念特別展「いるまタイムカプセル～見る・聞く・残す わたしの入間史」を開催しました。

社会体育事業では、スポーツ・レクリエーションに親しみ、実践する市民を増やすことを目的に、誰もが気軽に楽しめる教室、大会等を各種スポーツ団体との連携により実施しました。施設管理については、二本木スポーツ広場の用地取得、東金子スポーツ広場の防球ネット改修工事を実施しました。

#### <公債費関係>

公債費は、決算額30億7,532万9,707円、前年度対比8%の減であります。この要因は、高金利分の償還を終了したことによるものです。

## 2 歳入歳出決算額

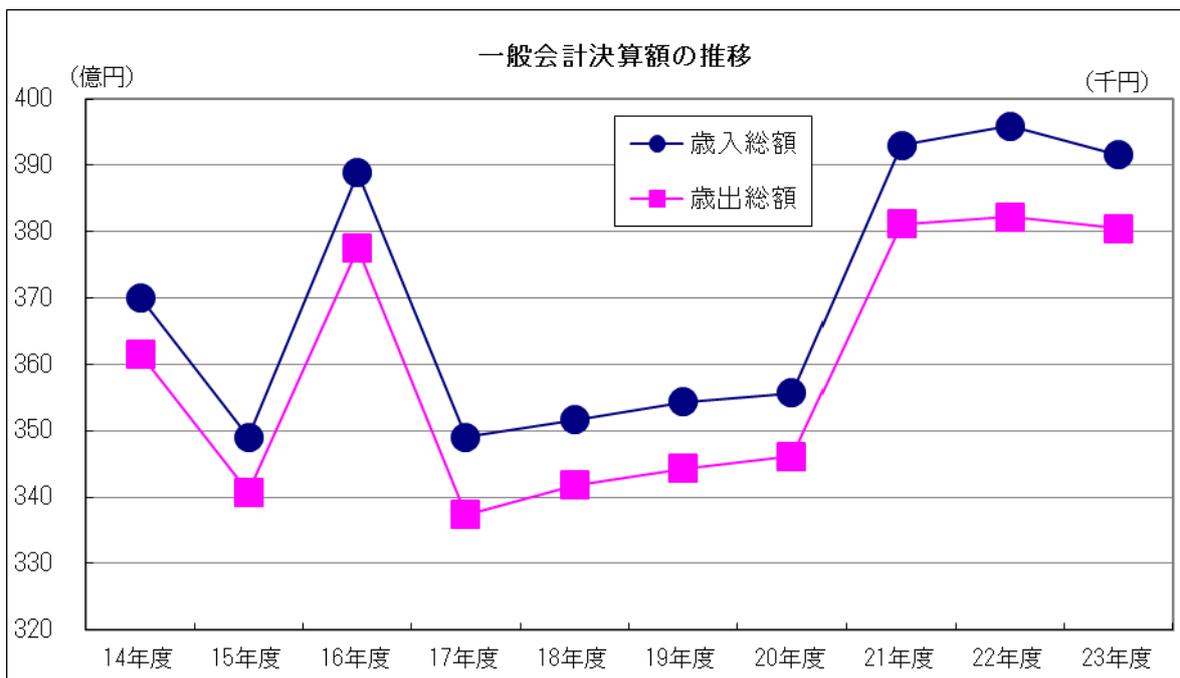
(単位 円)

歳 入		歳 出	
科 目	収入済額	科 目	支出済額
1 市税	21,269,650,976	1 議会費	343,877,003
2 地方譲与税	340,080,420	2 総務費	4,796,954,628
3 利子割交付金	49,769,000	3 民生費	15,099,323,310
4 配当割交付金	38,807,000	4 衛生費	3,501,467,410
5 株式等譲渡所得割交付金	9,594,000	5 労働費	92,311,999
6 地方消費税交付金	1,196,318,000	6 農林水産業費	160,986,790
7 ゴルフ場利用税交付金	49,939,757	7 商工費	262,784,193
8 自動車取得税交付金	77,902,000	8 土木費	3,789,561,425
9 国有提供施設等所在市町村助成交付金	60,200,000	9 消防費	1,517,874,493
10 地方特例交付金	265,926,000	10 教育費	5,098,495,413
11 地方交付税	1,638,050,000	11 公債費	3,075,329,707
12 交通安全対策特別交付金	23,665,000	12 諸支出金	306,607,545
13 分担金及び負担金	590,168,756	13 予備費	0
14 使用料及び手数料	602,844,726		
15 国庫支出金	4,916,623,310		
16 県支出金	2,114,409,172		
17 財産収入	33,719,127		
18 寄附金	115,237,176		
19 繰入金	62,761,023		
20 繰越金	1,372,405,652		
21 諸収入	938,041,622		
22 市債	3,394,588,000		
合 計	39,160,700,717	合 計	38,045,573,916

### 3 一般会計決算額の推移

(単位 千円)

年度	歳入総額 (A)	歳出総額 (B)	歳入歳出 差引額 (C)=(A)-(B)	翌年度へ繰り 越すべき財源 (D)	実質収支額 (E)=(C)-(D)
14年度	37,002,179	36,156,605	845,574	45,578	799,996
15年度	34,905,812	34,071,422	834,390	40,595	793,795
16年度	38,890,631	37,751,332	1,139,299	51,707	1,087,592
17年度	34,900,274	33,733,560	1,166,714	111,333	1,055,381
18年度	35,163,288	34,179,317	983,971	23,596	960,375
19年度	35,436,421	34,431,339	1,005,082	122,556	882,526
20年度	35,571,441	34,613,305	958,136	105,091	853,045
21年度	39,304,519	38,112,537	1,191,982	205,569	986,413
22年度	39,593,169	38,220,763	1,372,406	418,002	954,404
23年度	39,160,701	38,045,574	1,115,127	323,024	792,103



#### 4 歳入決算額の構成及び前年度比較

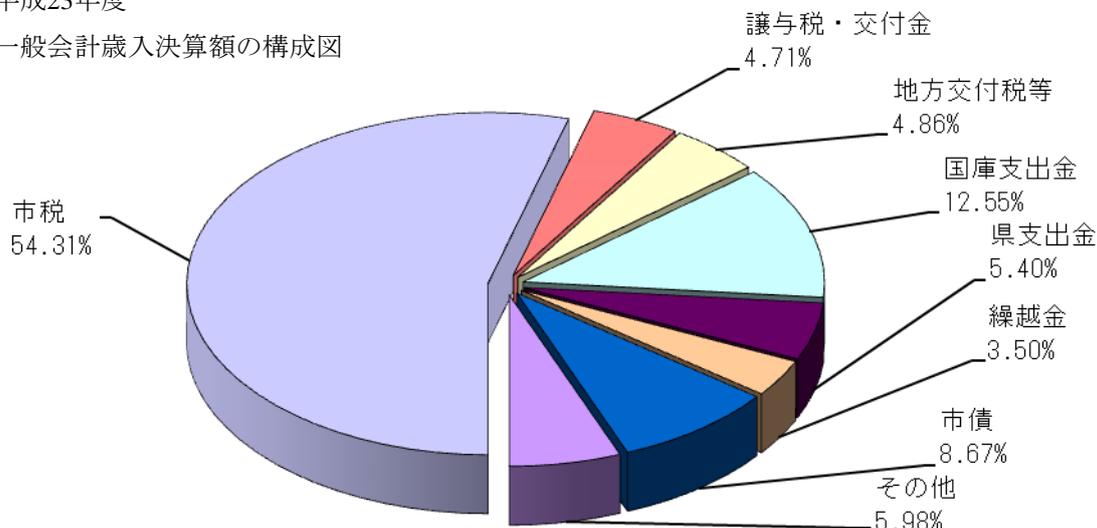
(単位 円)

款	平成 23 年度		平成 22 年度		比較増減
	収入済額	構成比	収入済額	構成比	
市税	21,269,650,976	54.31%	21,199,402,927	53.54%	70,248,049
譲与税・交付金	1,846,275,177	4.71%	1,952,050,777	4.93%	△105,775,600
地方譲与税	340,080,420	0.87%	348,508,249	0.88%	△8,427,829
利子割交付金	49,769,000	0.13%	63,727,000	0.16%	△13,958,000
配当割交付金	38,807,000	0.10%	34,231,000	0.09%	4,576,000
株式等譲渡所得割交付金	9,594,000	0.02%	11,494,000	0.03%	△1,900,000
地方消費税交付金	1,196,318,000	3.05%	1,220,409,000	3.08%	△24,091,000
ゴルフ場利用税交付金	49,939,757	0.13%	55,429,528	0.14%	△5,489,771
自動車取得税交付金	77,902,000	0.20%	134,248,000	0.34%	△56,346,000
国有提供施設等所在市町村助成交付金	60,200,000	0.15%	59,952,000	0.15%	248,000
交通安全対策特別交付金	23,665,000	0.06%	24,052,000	0.06%	△387,000
地方交付税等	1,802,121,000	4.86%	1,802,121,000	4.55%	101,855,000
地方交付税	1,533,546,000	4.18%	1,533,546,000	3.87%	104,504,000
地方特例交付金	268,575,000	0.68%	268,575,000	0.68%	△2,649,000
国庫支出金	4,733,219,191	12.55%	4,733,219,191	11.95%	183,404,119
県支出金	1,945,240,252	5.40%	1,945,240,252	4.91%	169,168,920
繰越金	1,191,981,502	3.50%	1,191,981,502	3.01%	180,424,150
市債	3,903,220,000	8.67%	3,903,220,000	9.86%	△508,632,000
その他	2,865,933,000	5.98%	2,865,933,000	7.24%	△523,160,570
分担金及び負担金	575,485,825	1.51%	575,485,825	1.45%	14,682,931
使用料及び手数料	609,935,371	1.54%	609,935,371	1.54%	△7,090,645
財産収入	197,573,340	0.09%	197,573,340	0.50%	△163,854,213
寄附金	6,925,335	0.29%	6,925,335	0.02%	108,311,841
繰入金	625,324,292	0.16%	625,324,292	1.58%	△562,563,269
諸収入	850,688,837	2.40%	850,688,837	2.15%	87,352,785
歳入合計	39,593,168,649	100.0%	39,593,168,649	100.0%	△432,467,932

※表中の構成比は、表示単位未満四捨五入のため、積み上げた数値とその合計値は必ずしも一致しません。

平成23年度

一般会計歳入決算額の構成図



## 5 歳出決算額の構成及び前年度比較

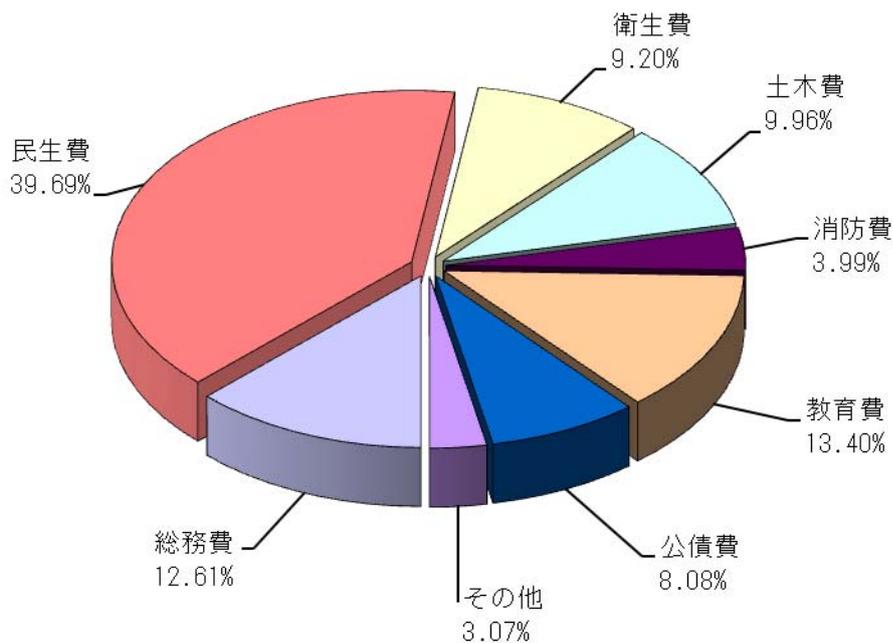
(単位 円)

款	平成 23 年度		平成 22 年度		比較増減
	支出済額	構成比	支出済額	構成比	支出済額
総務費	4,796,954,628	12.61%	5,720,881,849	14.97%	△923,927,221
民生費	15,099,323,310	39.69%	14,102,761,860	36.90%	996,561,450
衛生費	3,501,467,410	9.20%	3,229,197,260	8.45%	272,270,150
土木費	3,789,561,425	9.96%	4,584,505,112	11.99%	△794,943,687
消防費	1,517,874,493	3.99%	1,435,588,848	3.76%	82,285,645
教育費	5,098,495,413	13.40%	4,686,676,745	12.26%	411,818,668
公債費	3,075,329,707	8.08%	3,344,319,342	8.75%	△268,989,635
その他	1,166,567,530	3.07%	1,116,831,981	2.92%	49,735,549
議会費	343,877,003	0.90%	270,379,455	0.71%	73,497,548
労働費	92,311,999	0.24%	112,707,084	0.29%	△20,395,085
農林水産業費	160,986,790	0.42%	157,855,629	0.41%	3,131,161
商工費	262,784,193	0.69%	267,421,753	0.70%	△4,637,560
諸支出金	306,607,545	0.81%	308,468,060	0.81%	△1,860,515
歳出合計	38,045,573,916	100.0%	38,220,762,997	100.0%	△175,189,081

※表中の構成比は、表示単位未満四捨五入のため、積み上げた数値とその合計値は必ずしも一致しません。

平成23年度

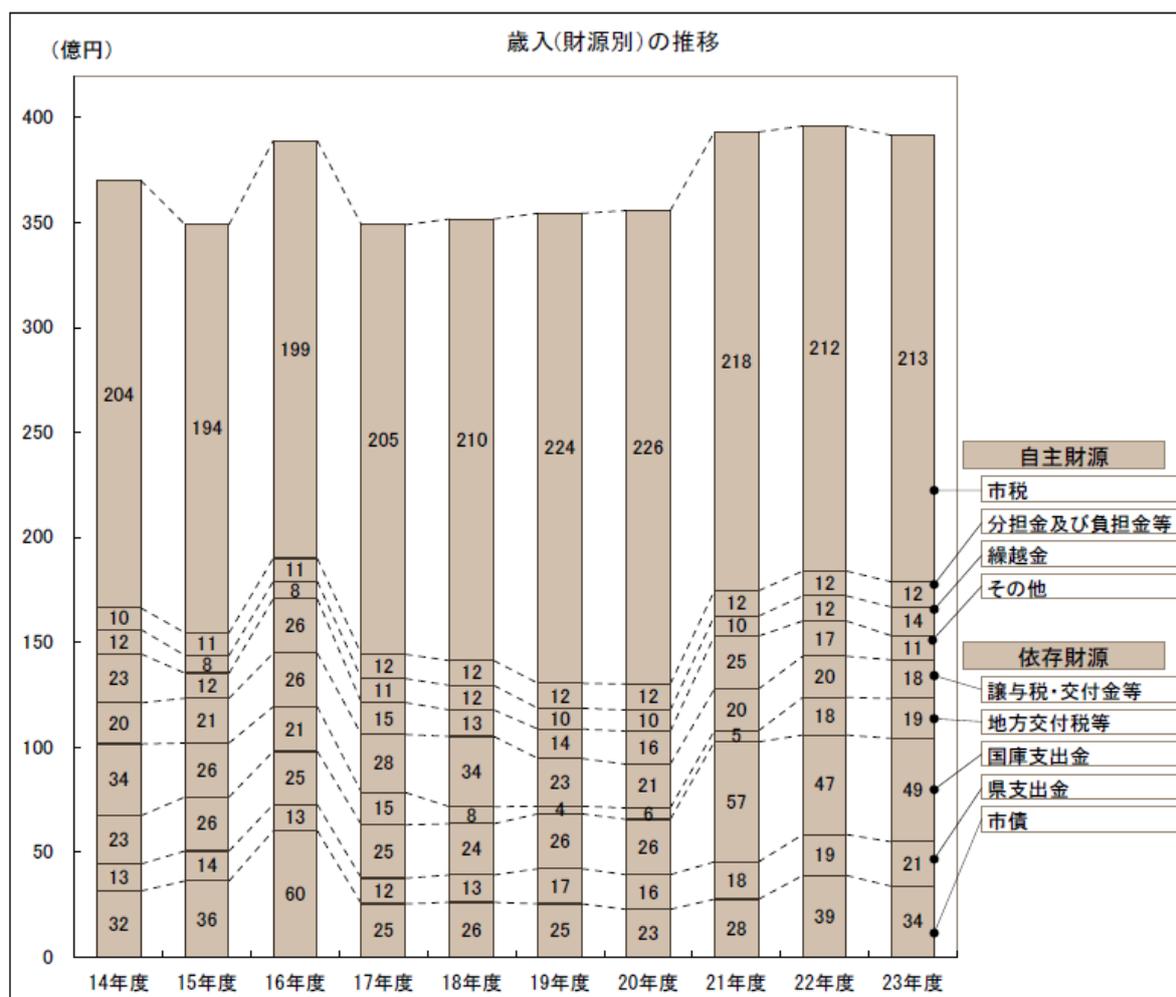
一般会計歳出決算額の構成図



## 6 自主財源・依存財源の推移

		(単位:億円)									
歳入		14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
自主財源	構成比	(67.3%)	(64.7%)	(62.7%)	(69.6%)	(70.1%)	(73.3%)	(74.2%)	(67.5%)	(63.8%)	(63.8%)
		249	226	244	243	246	260	264	265	253	250
	市税	204	194	199	205	210	224	226	218	212	213
	分担金及び負担金等	10	11	11	12	12	12	12	12	12	12
	繰越金	12	8	8	11	12	10	10	10	10	14
その他	23	12	26	15	13	14	16	25	17	11	
依存財源	構成比	(32.7%)	(35.3%)	(37.3%)	(30.4%)	(29.9%)	(26.7%)	(25.8%)	(32.5%)	(36.2%)	(36.2%)
		121	123	145	106	105	95	92	128	143	142
	譲与税・交付金	20	21	26	28	34	23	21	20	20	18
	地方交付税等	34	26	21	15	8	4	6	5	18	19
	国庫支出金	23	26	25	25	24	26	26	57	47	49
	県支出金	13	14	13	12	13	17	16	18	19	21
市債	32	36	60	25	26	25	23	28	39	34	
歳入合計		370	349	389	349	352	354	356	393	396	392

※表示単位未満四捨五入のため、積み上げた数値とその合計値は必ずしも一致しません。

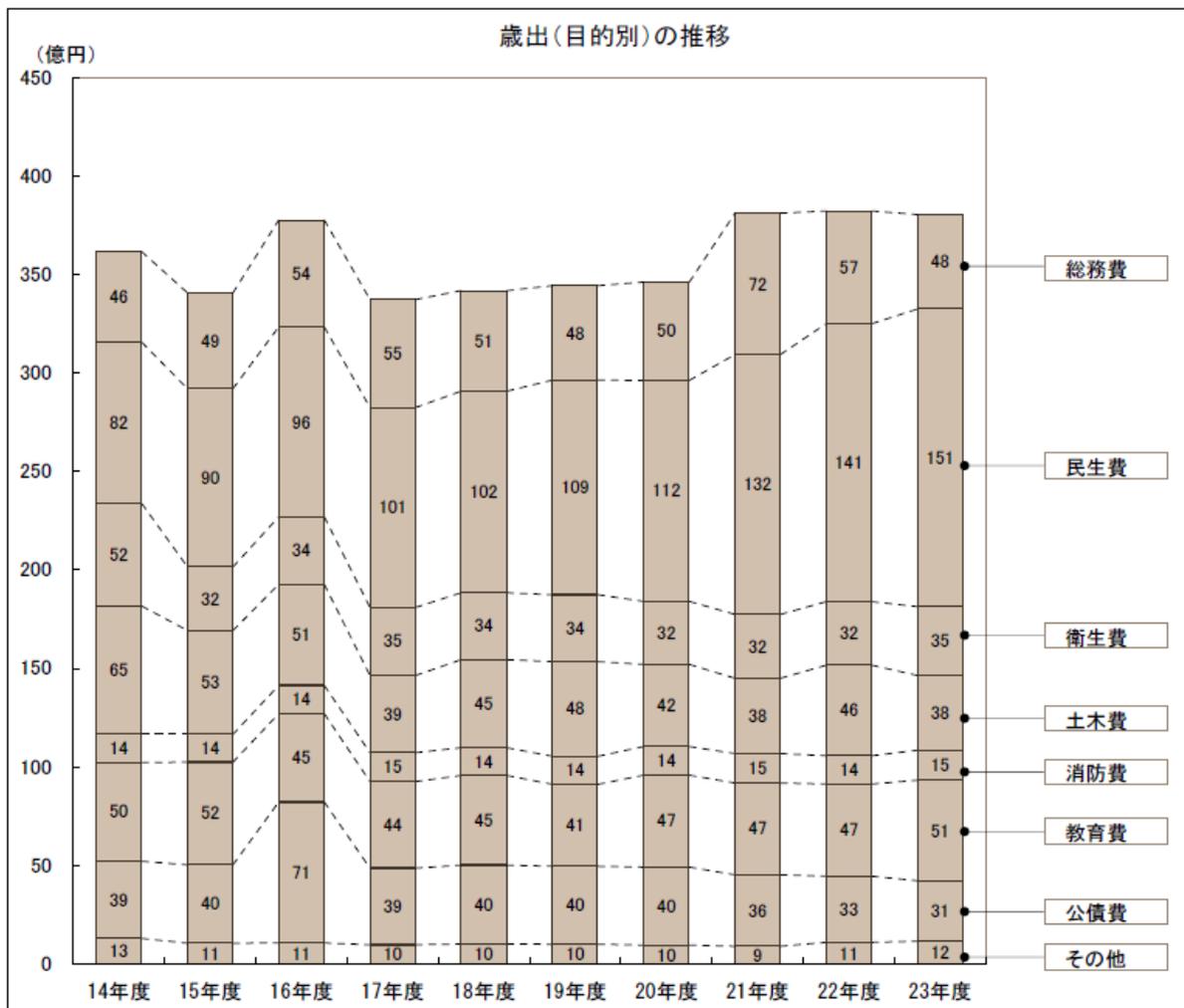


## 7 歳出目的別決算の推移

(単位 億円)

歳出	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
総務費	46	49	54	55	51	48	50	72	57	48
民生費	82	90	96	101	102	109	112	132	141	151
衛生費	52	32	34	35	34	34	32	32	32	35
土木費	65	53	51	39	45	48	42	38	46	38
消防費	14	14	14	15	14	14	14	15	14	15
教育費	50	52	45	44	45	41	47	47	47	51
公債費	39	40	71	39	40	40	40	40	36	33
その他	13	11	11	10	10	10	10	9	11	12
歳出合計	358	341	378	337	342	344	346	381	382	380

※表示単位未満四捨五入のため、積み上げた数値とその合計値は必ずしも一致しません。



## 8 主要事業の決算額

### (議会費)

(単位 円)

議員報酬等	253,194,662	本会議等費用弁償	996,000
政務調査費	4,741,692	議場等管理費	6,816,180
議会だより作成費	2,145,991		

### (総務費)

職員給与費	2,236,834,338	庁舎管理費/修繕費	13,987,246
有功表彰事業費	710,170	市制 45 周年記念式典関係費	666,597
人事管理費	51,651,313	職員研修費	3,738,626
職員福利厚生費	26,072,393	電子申請共同システム運営事業	424,500
検査事務費	39,672	消費者行政活性化事業	4,510,776
市民憲章推進費	280,154	広報費	50,533,749
広聴費	1,586,720	平和都市宣言推進啓発費	664,756
契約事務費/事務費	5,933,916	男女共同参画推進費	5,274,127
男女共同参画推進費/修繕費	5,313,000	協働のまちづくり推進事業	77,610,953
コミュニティ活動推進事業	19,197,977	市民活動センター運営事業	2,697,851
文化行政推進事業	4,423,469	入間万燈まつり実施事業	11,229,249
姉妹都市・友好都市交流事業	2,713,740	国際化推進事業	6,059,970
市民会館費/管理運営費	133,101,059	産業文化センター費/管理運営費	128,529,003
文化創造アトリエ費/管理運営費	43,064,289	防災・国民保護費/事務費	4,513,004
防災・国民保護費/防災リーダー養成事業	654,000	防災訓練実施事業	9,194,839
防災センター等管理運営費/諸工事費	1,092,000	防災用品・資機材関係費	2,631,258
災害対策事業/事務費	3,016,490	防災意識啓発事業	2,757,300
防犯関係事業	46,496,026	交通安全施設整備事業	29,909,913
自転車駐車場管理業務	24,031,971	市内循環バス運行事業	49,739,705
市営葬運営事業	33,312,100	住民基本台帳ネットワークシステム運用事業	17,145,970
戸籍総合システム運用事業	31,625,347	住民記録システム整備事業	46,515,000
選挙管理委員会費/倉庫撤去等諸工事費	430,500		

### (民生費)

民生委員・児童委員活動支援事業	30,990,899	中国残留邦人生活支援事業	33,525,551
住宅手当緊急特別措置事業	15,619,468	障害者自立支援事業/自立支援給付事業	1,001,919,516
障害者自立支援事業/地域生活支援事業	287,348,540	重度心身障害者医療費扶助事業	336,558,099
重度心身障害者福祉手当給付事業	110,366,750	老人福祉費/要援護者等支援事業	34,420,057
老人福祉費/自立生活支援事業	10,858,229	敬老祝金等支給事業	20,635,036
シルバーサービス事業	30,841,298	地域密着型施設等整備費補助事業	30,000,000
地域密着サービス等開設準備経費支給事業	15,000,000	老人福祉センター費/管理運営費	25,752,400
老人クラブ補助金	7,467,700	老人スポーツ大会開催事業	646,884
長寿フェスティバル事業補助金	143,276	後期高齢者支援事業/人間ドック等助成事業	8,736,000
後期高齢者医療費/療養給付費負担金	762,442,988	家庭児童相談員報酬	7,680,000
ひとり親家庭等医療費扶助	40,497,882	ファミリー・サポート・センター事業	8,294,704
つどいの広場事業	15,456,000	母子家庭自立支援事業	21,083,691
保育園児童保育実施委託事業	1,205,928,250	民間保育所運営費補助金	281,554,620
家庭保育室運営委託事業	15,354,289	民間保育所整備費補助金	500,000
民間保育所増改築整備事業補助金	23,679,000	保育事業	216,898,408
保育所費/施設管理費	17,303,031	保育所耐震化推進事業	2,782,500
保育所費/用地取得事業	161,247,420	公立保育所充実事業(寄付)	2,600,522
学童保育事業	43,014,208	児童扶養手当	539,587,080
子ども手当	2,750,399,000	子ども医療費扶助	246,958,525
生活保護扶助	1,674,568,187		

## (衛生費)

(単位 円)

瑞穂斎場組合負担金	119,871,000	環境の保全及び創造に資する助成事業	4,008,000
ISO14001推進事業	331,121	公害関係調査分析関係費	12,353,775
健康福祉センター直行バス運行事業	10,598,893	夜間診療所管理運営事業	23,620,358
健康診断事業	219,839,720	乳幼児予防接種事業	163,088,897
子宮頸がん等ワクチン接種事業	169,041,575	高齢者予防接種事業	50,527,247
母子健康教育事業	3,009,818	母子健康相談・訪問事業	3,591,374
母子地域活動推進事業	1,262,910	母子保健システム等運用事業	8,983,779
妊婦健診事業	93,567,280	乳幼児健診事業	14,132,646
健康づくり推進事業	23,585,005	地域福祉推進事業	4,160,134
発達支援事業	4,627,839	入間西部衛生組合負担金	270,381,000
市民清掃デー実施事業	5,528,660	ごみ不法投棄対策事業費	3,873,602
ごみ収集運搬委託事業費	501,303,335	ごみ中間処理事業費	759,457,244
ごみ運搬処分事業費	170,835,161	ごみ減量化・資源化事業費	26,187,319

## (労働費)

シルバー人材センター補助金	5,000,000	勤労者福祉サービスセンター補助金	8,100,000
勤労者住宅取得対策事業	70,000,000		

## (農林水産業費)

農業委員会報酬	10,498,358	農業振興推進事業	7,001,980
農業委員会運営費	2,510,753	環境保全型農業推進事業	647,859

## (商工費)

商業振興事業	33,859,669	地域産業振興事業	1,364,102
工業振興事業	14,294,190	観光協会補助金	5,550,000
商工業振興資金融資事業	121,081,530	旧国民宿舎整備事業費/管理運営費	7,209,234

## (土木費)

道路維持管理事業/維持管理費	24,006,470	道路等緊急補修事業	119,994,581
橋りょう点検事業	6,016,500	道水路整備事業	123,499,206
舗装補修事業	44,271,150	都市計画基礎調査事業	3,958,500
都市計画マスタープラン改訂事業	805,015	都市計画基本図修正事業	16,107,000
建築指導費	485,034	建築物耐震改修等促進事業	241,000
開発指導費	29,897	市道拡幅整備事業	41,384,653
建築行政OA化推進事業	3,758,167	安川新道線整備事業	73,139,134
公園等整備事業	214,581,000	入間市駅北口エレベーター設置事業	85,600,150
加治丘陵対策事業	187,067,506	緑化推進事業	44,402,112
市営住宅管理運営事業	41,707,683	市営住宅耐震化推進事業	7,375,200

## (消防費)

常備消防費/自動車等購入費	28,276,933	消防機器購入費	2,366,342
消防活動費/研修費	8,225,107	消防活動費/被服等購入費	5,305,103
非常備消防費/自動車等購入費	24,265,892	消防団活動費/被服等購入費	3,100,963
消防団活動費/広報事業費	419,868	女性防火クラブ運営事業	810,000
防火水槽整備事業	3,958,500		

## (教育費)

(単位 円)

学校教育支援事業	102,206,172	英語指導助手関係費	41,154,065
子ども未来室推進事業	8,478,279	不登校対策事業	678,933

小学校管理運営費/諸工事費	7,971,600	小学校管理運営費/事務費	336,680,196
小学校費/教育管理備品購入事業	8,761,641	小学校費/施設整備事業	99,843,396
小学校耐震化推進事業	357,849,450	小学校費/教育教材購入事業	14,779,898
小学校費/要保護及準要保護児童生徒援助費	60,687,177	中学校管理運営費/諸工事費	4,983,121
中学校管理運営費/事務費	184,395,954	中学校費/教育管理備品購入事業	5,324,130
中学校費/施設整備事業	955,500	中学校耐震化推進事業	337,937,200
中学校費/教育教材購入事業	20,552,946	中学校費/要保護及準要保護児童生徒援助費	52,966,420
私立幼稚園就園奨励費補助事業	151,442,250	私立幼稚園保護者負担軽減対策補助金	34,629,000
社会教育振興費	8,792,272	生涯学習事業費	2,129,607
子ども居場所づくり事業費	1,492,341	文化財保護費	9,468,397
公民館管理運営費/諸工事費	4,292,662	公民館管理運営費/施設改修事業	22,827,000
公民館費/事業運営費	7,912,171	公民館文化活動事業	1,100,000
児童センター費/事業運営費	9,762,526	青少年活動推進事業費	2,891,171
図書館費/維持管理費	22,521,796	情報ネットワークシステム整備事業	21,491,904
図書等購入事業	27,987,626	図書等整備事業/事務費	12,778,870
博物館運営事業	45,277,459	社会体育振興事業費	2,818,937
スポーツ広場整備事業	111,050,450	学校給食センター施設設備整備事業	21,547,590
自校給食設備整備事業	29,261,881		

(公債費)

償還元金	2,642,306,630	償還利子	432,996,230
------	---------------	------	-------------

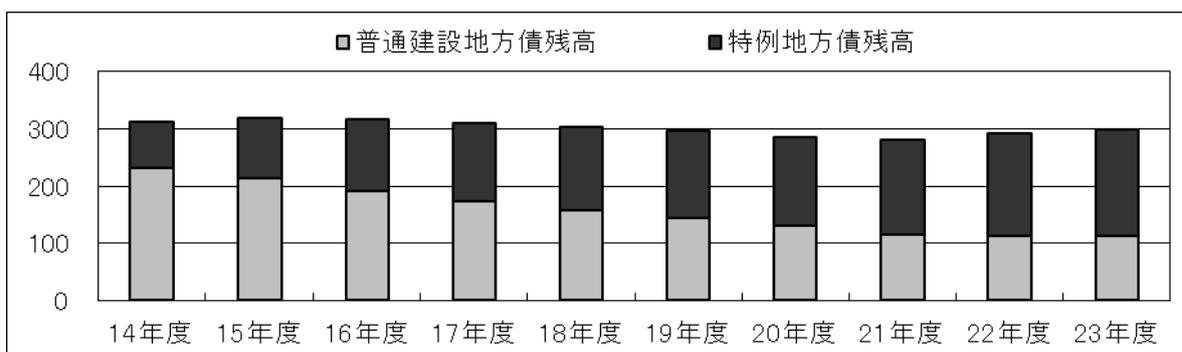
(諸支出金)

水道事業会計返還金	306,581,916		
-----------	-------------	--	--

9 市債の元利償還額、借入額及び市債残高（平成23年度決算）

（単位 円）

区 分	平成22年度末 現在高	平成23年度 借入額	平成23年度償還額			平成23年度末 現在高
			元 金	利 子	計	
普通建設地方債	11,298,083,282	1,533,700,000	1,468,591,727	197,564,004	1,666,155,731	11,363,191,555
総務債	3,731,315	0	3,731,315	72,917	3,804,232	0
民生債	106,800,000	0	0	1,815,600	1,815,600	106,800,000
衛生債	616,554,329	0	163,902,784	4,620,683	168,523,467	452,651,545
土木債	7,668,513,909	1,095,300,000	559,648,921	109,436,728	669,085,649	8,204,164,988
消防債	135,482,004	25,200,000	34,728,838	1,105,845	35,834,683	125,953,166
教育債	2,767,001,725	413,200,000	706,579,869	80,512,231	787,092,100	2,473,621,856
特例地方債	17,852,930,026	1,860,888,000	1,173,714,903	235,432,226	1,409,147,129	18,540,103,123
減税補てん債	3,375,036,710	0	501,578,844	43,566,454	545,145,298	2,873,457,866
臨時税収補てん債	295,823,491	0	39,658,631	6,005,173	45,663,804	256,164,860
臨時財政対策債	13,567,169,825	1,860,888,000	612,801,428	176,291,143	789,092,571	14,815,256,397
減収補てん債	614,900,000	0	19,676,000	9,569,456	29,245,456	595,224,000
合 計	29,151,013,308	3,394,588,000	2,642,306,630	432,996,230	3,075,302,860	29,903,294,678



10 一時借入金の現在高（平成23年度決算）

（単位 円）

区 分	予算で定められた 限度額	平成22年度末 現在高	平成23年度		平成23年度末 現在高	平成23年度 最高借入額
			借入額累計	償還額累計		
一般会計	3,000,000,000	0	0	0	0	0

平成23年度国民健康保険特別会計決算の状況

1 決算の概要

平成23年度の歳入総額は、155億1,226万8,458円、歳出総額は153億5,002万646円で、歳入総額から歳出総額を差し引いた形式収支で1億6,224万7,812円となり、前年度の形式収支額2億194万2,311円を差し引いた単年度収支額では、3,969万4,499円の赤字となりました。なお、単年度収支からその他一般会計繰入金16億2,000万円を除いた実質単年度収支では、16億5,969万4,499円の赤字となりました。この実質的な収支額を前年度と比較すると、率にして5.4%、額にして8,574万4,750円赤字額が増加したことになります。

2 歳入歳出決算額

(単位 円)

歳 入		歳 出	
科 目	収入済額	科 目	支出済額
1 国民健康保険税	3,360,774,197	1 総務費	79,190,195
2 使用料及び手数料	30,800	2 保険給付費	10,532,491,548
3 国庫支出金	3,447,854,533	3 後期高齢者支援金等	2,035,586,413
4 療養給付費等交付金	645,283,441	4 前期高齢者納付金等	6,016,589
5 前期高齢者交付金	4,012,705,047	5 老人保健拠出金	4,896,640
6 県支出金	700,615,812	6 介護納付金	820,095,977
7 共同事業交付金	1,500,312,087	7 共同事業拠出金	1,507,318,285
8 財産収入	33,530	8 保健事業費	176,327,768
9 繰入金	1,620,000,000	9 基金積立金	33,530
10 繰越金	201,942,311	10 公債費	0
11 諸収入	22,716,700	11 諸支出金	188,063,701
		12 予備費	0
合 計	15,512,268,458	合 計	15,350,020,646

### 3 決算の特徴

平成23年度決算は形式収支上1億6,224万7,812円の黒字となるものの、歳出では保険給付費が3億8,815万6,533円、率にして3.8%の増加になるなど実質的な収支は赤字状況が継続し、国民健康保険事業運営はたいへん厳しい状況となっております。

### 4 一時借入金の現在高（平成23年度決算）

（単位 円）

区 分	予算で定められた 限度額	平成22年度末 現 在 高	平成23年度		平成23年度末 現 在 高	平成23年度 最高借入額
			借入額累計	償還額累計		
国民健康保険 特別会計	500,000,000	0	0	0	0	0

## 平成23年度入間市後期高齢者医療特別会計決算の状況

### 1 決算の概要

後期高齢者医療制度は、75歳以上の方と65歳から74歳の一定の障害の状態にあることにより広域連合の認定を受けた方を対象とした制度で、その運営は都道府県単位に設置された後期高齢者医療広域連合が運営主体（保険者）となり、市は被保険者証の引渡しや保険料の収納等の窓口事務を行うこととされております。このため、市が設置する特別会計の主なものは保険料に関わるものです。

平成23年度の決算は歳入総額が11億1,828万5,285円で、歳出総額は11億1,231万8,040円となっております。

歳入の主なものは後期高齢者医療保険料9億2,055万2,000円で、歳出の主なものは、市が収納した保険料等を埼玉県後期高齢者医療広域連合に納付する後期高齢者医療広域連合納付金10億8,428万8,097円となっております。

なお、平成24年3月31日現在の被保険者数は12,754人です。

### 2 歳入歳出決算額

(単位 円)

歳 入		歳 出	
科 目	収入済額	科 目	支出済額
1 保険料	920,552,000	1 総務費	24,887,925
2 使用料及び手数料	2,400	2 後期高齢者医療広域連合納付金	1,084,288,097
3 繰入金	191,161,009	3 諸支出金	3,142,018
4 繰越金	5,055,516	4 予備費	0
5 諸収入	1,514,360		
合 計	1,118,285,285	合 計	1,112,318,040

## 平成23年度介護保険特別会計決算の状況

### 1 決算の概要

高齢者の介護を社会全体で支える制度として平成12年4月にスタートした介護保険は、制度開始から12年が経過しましたが、制度に対する市民の理解も深まり、要介護認定事務をはじめ保険料事務、給付事務、地域支援事業等、順調に執行することができました。

平成23年度の決算状況は、歳入総額は65億5,036万2,005円で、歳出総額は63億7,265万7,195円となり、歳入歳出差引額は、1億7,770万4,810円となりました。

平成23年度中の要介護認定審査については、4,887件を審査しました。また、平成24年3月末現在の要介護、要支援認定者は4,487人です。

高齢化の進展に伴い今後も介護サービスの利用増加が見込まれ、厳しい財政状況になるものと思われませんが、引き続き介護保険制度の普及と健全な特別会計の運営に努めてまいります。

### 2 歳入歳出決算額

(単位 円)

歳 入		歳 出	
科 目	収入済額	科 目	支出済額
1 保険料	1,348,986,478	1 総務費	60,481,303
2 使用料及び手数料	0	2 保険給付費	5,816,330,963
3 国庫支出金	1,111,882,375	4 基金積立金	245,245,164
4 支払基金交付金	1,770,881,814	5 地域支援事業費	242,409,150
5 県支出金	918,889,079	6 諸支出金	8,190,615
6 財産収入	797,871	7 予備費	0
7 繰入金	1,182,728,227		
8 繰越金	216,152,861		
9 諸収入	43,300		
合 計	6,550,362,005	合 計	6,372,657,195

### 3 要介護認定審査の状況

(単位：人)

自立	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合 計
46	923	805	962	670	548	485	448	4,887

#### 4 要介護、要支援認定者数の状況

平成24年3月31日現在 (単位：人)

		要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合 計
第1号被保険者		716	629	914	613	525	463	419	4,279
区 分	65歳以上 75歳未満	108	116	154	113	71	62	68	692
	75歳以上	608	513	760	500	454	401	351	3,587
第2号被保険者		16	28	51	47	16	19	31	208
合 計		723	657	965	660	541	482	450	4,487

平成24年3月31日現在 人口 150,326人 内65歳以上 31,702人 高齢化率 21.08%

#### 5 居宅サービス受給者数

平成24年3月利用分 (単位：人)

		要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合 計
第1号 被保険者		327	426	613	434	274	174	107	2,355
第2号 被保険者		4	17	36	33	12	11	15	128
合 計		331	443	649	467	286	185	122	2,483

#### 6 地域密着型サービス受給者数

平成24年3月利用分 (単位：人)

		要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合 計
第1号 被保険者		1	4	17	23	19	13	7	84
第2号 被保険者		0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		1	4	17	23	19	13	7	84

7 施設サービス受給者数

平成24年3月利用分 (単位：人)

	介護老人 福祉施設	介護老人 保健施設	介護療養型 医療施設	合 計
第1号被保険者	394	308	92	794
第2号被保険者	6	11	0	17
合 計	400	319	92	811

## 平成23年度下水道事業特別会計決算の状況

### 1 決算の概要

平成23年度下水道事業特別会計は、歳入総額24億1万4,883円、歳出総額23億2,229万1,135円であり、予算現額24億786万3千円に対し、歳入は99.7%、歳出では96.5%の執行率となりました。

公共下水道の整備については、区域の拡大を図るため、汚水管374.8m、雨水管405.2mの整備を進め、総延長632.7mの管渠築造工事を実施いたしました。これにより、平成23年度末における汚水の整備率は、事業認可面積1,584.4haに対し、整備済面積1,537.2haで97.0%となりました。雨水の整備率は、事業認可面積965.0haに対し、整備済面積226.2haで23.4%です。

また、公共下水道への接続状況は、処理区域内人口129,492人に対し、水洗化人口124,719人で水洗化率は96.3%となりました。

なお、平成23年度における決算状況及び執行した主な事業は次のとおりです。

### 2 歳入歳出決算額

(単位 円)

歳 入		歳 出	
科 目	収入済額	科 目	支出済額
1 分担金及び負担金	938,700	1 総務費	854,460,155
2 使用料及び手数料	1,454,377,297	2 事業費	236,906,891
3 国庫支出金	0	3 公債費	1,230,924,089
4 寄附金	1,862,100	4 予備費	0
5 繰入金	310,000,000		
6 繰越金	146,827,735		
7 諸収入	390,521,101		
8 市債	93,200,000		
9 県支出金	2,287,950		
合 計	2,400,014,883	合 計	2,322,291,135

### 3 平成23年度に執行した主要な下水道事業

事業名	事業内容
補修工事	55件
汚水管布設工事	7件 工事延長 374.80m (内、区画分 3件 工事延長 251.80m)
雨水管布設工事	2件 工事延長 405.20m (内、区画分 1件 工事延長 83.40m)
舗装本復旧工事	3件
取付管設置工事	42件 (内、区画分 17件)

### 4 市債の元利償還額、借入額及び市債残高 (平成23年度決算)

(単位 円)

区分	平成22年度末 現在高	平成23年度 借入額	平成23年度償還額			平成23年度末 現在高
			元金	利子	計	
下水道債	12,572,040,558	93,200,000	851,863,046	379,061,043	1,230,924,089	11,813,377,512

平成23年度武蔵藤沢駅周辺土地区画整理事業特別会計決算の状況

1 決算の概要

武蔵藤沢駅周辺の市街地整備を目的とした本事業の歳入総額は、3億1,571万7,780円であり、歳出総額は、2億4,026万493円で、予算総額に対し55.4%の執行率でしたが、これは繰越明許費繰越額があったためです。

なお、平成23年度における決算状況及び執行した主な事業は次のとおりです。

2 歳入歳出決算額

(単位 円)

歳 入		歳 出	
科 目	収入済額	科 目	支出済額
1 事業収入	76,105,138	1 総務費	71,387,970
2 国庫支出金	0	2 事業費	(20,503,615) 168,872,523
4 繰入金	(19,112,000) 186,612,000	3 予備費	0
5 繰越金	(1,392,000) 53,000,642		
合 計	(20,504,000) 315,787,780	合 計	(20,503,615) 240,260,493

3 平成23年度に執行した主要な事業

事 業 名	事 業 内 容
街路築造工事	工事延長 409.15m (139.74m)
公園工事	藤沢なかよし公園整備工事 4,127.00 m <sup>2</sup>
林川改修工事	林川上部整備工事 242.1m
建物移転補償	建物移転 5棟

平成23年度入間都市計画事業入間市駅北口土地区画整理事業特別会計決算の状況

1 決算の概要

入間市駅北口周辺の市街地整備を目的とした本事業の歳入総額は、6億4,365万8,155円であり、歳出総額は、5億8,771万4,988円で、予算現額に対し84.26%の執行率であります。これは、一部事業を翌年度へ繰越措置したためです。

2 歳入歳出決算額

(単位 円)

歳 入		歳 出	
科 目	収入済額	科 目	支出済額
1 国庫支出金	202,337,550	1 総務費	72,031,454
2 繰入金	390,100,000	2 事業費	515,683,534
3 繰越金	51,220,605	3 予備費	0
合 計	643,658,155	合 計	587,714,988

3 平成23年度に執行した主要な事業

事 業 名	事 業 内 容
建物・物件調査委託	建物等調査・積算 建物16棟、工作物3件
街路築造工事	工事延長 50m
宅地造成工事	造成面積 4,387 m <sup>2</sup>
汚水工事	工事延長 45.5m
建物移転補償	建物移転 9棟

平成23年度入間都市計画事業扇台土地区画整理事業特別会計決算の状況

1 決算の概要

扇台地区の市街地整備を目的とした本事業の歳入決算額は、5億9,340万7,545円  
であります。

次に歳出決算額は、5億6,265万4,368円であり、予算現額に対する執行率は、9  
0.7%であります。これは、一部事業を翌年度へ繰越措置したためであります。

平成23年度は、扇台愛宕公園線をはじめとした街路築造工事、污水管布設工事を実施する  
とともに、19棟の建物移転を行いました。

平成23年度末における事業の進捗状況は、建物移転で17.4%、道路整備で32.4%  
となっております。

2 歳入歳出決算額

(単位 円)

歳 入		歳 出	
科 目	収入済額	科 目	支出済額
1 事業収入	23,584,200	1 総務費	59,482,268
2 国庫支出金	93,510,000	2 事業費	503,172,100
4 繰入金	467,152,000	3 予備費	0
5 繰越金	9,161,345		
合 計	593,407,545	合 計	562,654,368

3 平成23年度に執行した主要な事業

事 業 名	事 業 内 容
建 物 移 転 補 償	19棟
街 路 築 造 工 事	工事延長 546.18m
汚 水 管 布 設 工 事	工事延長 642.15m

平成23年度入間都市計画事業狭山台土地区画整理事業特別会計決算の状況

1 決算の概要

狭山台地区の新市街地整備を目的とした本事業の歳入総額は、6億6,770万7,670円であり、歳出総額は、5億8,097万2,471円で予算現額に対し85.2%の執行率であります。

平成23年度の決算状況及び執行した主要な事業は次のとおりです。

2 歳入歳出決算額

(単位 円)

歳 入		歳 出	
科 目	収入済額	科 目	支出済額
1 事業収入	79,510,000	1 総務費	51,122,032
2 国庫支出金	30,800,000	2 事業費	(105,253,833) 409,237,733
3 繰入金	(65,370,000) 521,710,000	3 公債費	120,612,706
4 繰越金	(17,142,000) 35,687,670	4 予備費	0
合 計	(82,512,000) 667,707,670	合 計	(105,253,833) 580,972,471

( ) 内は、繰越明許費

3 執行した主要な事業

事 業 名	事 業 内 容
街路築造工事	工事延長 1,009.1m (620.4m)
雨水管布設工事	工事延長 569.7m (399.0m)
物件等移転補償	3棟 (2棟)

街路築造工事及び物件等移転補償の( )内は、繰越明許費

4 市債の元利償還額、借入額及び市債残高(平成23年度決算)

(単位 円)

区 分	平成22年度末 現在高	平成23年度 借入額	平成23年度償還額			平成23年度末 現在高
			元 金	利 子	計	
土地区画整理事業債	474,400,000	0	118,600,000	2,012,706	120,612,706	355,800,000

## 平成23年度水道事業会計決算の状況

### 1 決算の概要

年度末における給水戸数は63,491戸、給水人口は150,252人となり、総給水量は、17,366,990m<sup>3</sup>で、前年度に比べ446,200m<sup>3</sup>(2.50%)の減少となりました。

有収水量は、16,259,212m<sup>3</sup>で、前年度に比べ362,793m<sup>3</sup>(2.18%)減少し、有収率は93.83%となりました。

#### 収益的収入・支出

財政状況については、事業収益が2,909,405,765円(税抜額2,772,835,224円)で予算現額2,902,660,000円に対して100.23%の執行率となりました。このうち水道事業の主財源となる給水収益は、2,683,006,838円(税抜額2,555,311,212円)と前年度に比べ88,965,789円(税抜額84,729,053円)の減となりました。

一方、事業費については、2,784,490,551円(税抜額2,672,602,432円)で、予算現額2,876,682,000円に対し96.80%の執行率となりました。

以上の結果、事業収益(税抜額)から事業費(税抜額)を差引き、当年度純利益として100,232,792円を計上することができました。

#### 資本的収入・支出

建設改良工事を主な目的とする資本的収入・支出予算では、豊岡配水場内高区送水管更新工事、小谷田配水場解体工事、入間市駅北口土地区画整理事業をはじめとする各土地区画整理地内の配水管布設工事及びぶしニュータウン地内仕切弁取替え工事などを実施しました。また、平成24年度までの継続事業として扇町屋配水場耐震化事業、県道川越入間線配水管布設替工事(H23)及び入間市駅北口土地区画整理地内送水管布設工事その1については、引き続き実施していきます。

執行状況については、収入額が447,356,514円で、予算現額444,984,000円に対して100.53%の執行率となりました。このうち主なものは、他会計貸付金返還金300,000,000円であります。

支出額は861,795,129円で予算現額1,052,014,420円に対して81.92%の執行率となりました。

なお、資本的収入額が資本的支出額に不足する額414,438,615円は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんしました。

## 2 収益的収入及び支出・資本的収入及び支出決算額

(単位 円)

収益的収入		収益的支出	
科 目	収入済額	科 目	支出済額
給水収益	2,683,006,838	原水及び浄水費	1,096,588,143
その他の営業収益	207,121,136	配水費	384,127,196
受取利息	13,435,296	給水費	94,176,159
雑収益	5,842,495	委員会費	217,000
		業務費	133,462,667
		総係費	79,579,969
		減価償却費	759,347,270
		資産減耗費	71,681,422
		支払利息	107,404,985
		消費税	39,843,600
		過年度損益修正損	18,062,140
合 計	2,909,405,765	合 計	2,784,490,551

(単位 円)

資本的収入		資本的支出	
科 目	収入済額	科 目	支出済額
国庫補助金	9,570,000	事務費	64,992,772
負担金	70,246,314	配水管改良費	417,562,027
加入金	67,540,200	配水場改良費	129,183,600
他会計貸付金返還金	300,000,000	電話布設費	151,200
		量水器費	2,792,620
		固定資産購入費	3,875,130
		企業債償還金	243,237,780
合 計	447,356,514	合 計	861,795,129

## 3 企業債の元利償還額、借入額及び企業債残高（平成23年度決算）

(単位 円)

区 分	平成22年度末 現在高	平成23年度 借入額	平成23年度償還額			平成23年度末 現在高
			元 金	利 子	計	
上水道事業債	3,916,217,612	0	243,237,780	107,404,985	350,642,765	3,672,979,832